

平成26年年報

熊本県鉱工業生産・出荷・在庫指数

(平成22年基準)

熊本県企画振興部 交通政策・情報局

統計調査課

利 用 上 の 注 意

- 1 前年比及び前年同期(月)比は原指数を、前期(月)比は季節調整済指数により算出しています。
- 2 各年の指数値は「年平均」指数を、四半期の指数値は「四半期平均」指数を表しています。
- 3 原則として「鉱工業生産指数」、「鉱工業生産者出荷指数」、「鉱工業生産者製品在庫指数」をそれぞれ「生産指数」、「出荷指数」、「在庫指数」と略記しています。
- 4 グラフ、統計表に記入されたⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのローマ数字は、それぞれ1～3月期、4～6月期、7～9月期、10～12月期を示します。
- 5 本文中及び統計表中の記号は次のとおりです。
 - 「—」 皆無又は該当数値のないもの
 - 「▲」 負数(マイナスを示す)のもの
 - 「0」 単位未満のもの
 - 「X」「※」 統計の秘密保護の立場から、特に内容を秘匿したもの
なお、概況の説明文中の数値においても秘匿業種は含めていません。
- 6 数字の単位未満を四捨五入しているため、内訳の数値を積み上げた数値が合計の数値と一致しない場合があります。
- 7 本報告書の指数は、平成26年以前の数値について補正を行っているので、補正前に公表された月報・四半期報・年報の数値とは異なっている場合があります。
- 8 本書の内容についてのお問い合わせは、下記へご連絡ください。

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1
熊本県企画振興部 交通政策・情報局
統計調査課 教育商工班(内線 3610)
直通電話 096-333-2177
F A X 096-384-7544

目 次

I 熊本県鉱工業指数作成の概要	1
II 平成26年熊本県鉱工業指数の動向	
1 概 況	11
(1)生産の動向	12
(2)出荷の動向	15
(3)在庫の動向	16
2 業種別の動向	18
3 特殊分類別の動向	35

I 熊本県鉱工業指数作成の概要

1 基準時

平成22年を基準時とします。したがって、指数値は平成22年の月平均(在庫指数は月末平均)を100.0とした比率で示され、ウェイトは平成22年の産業構造によります。

2 分類

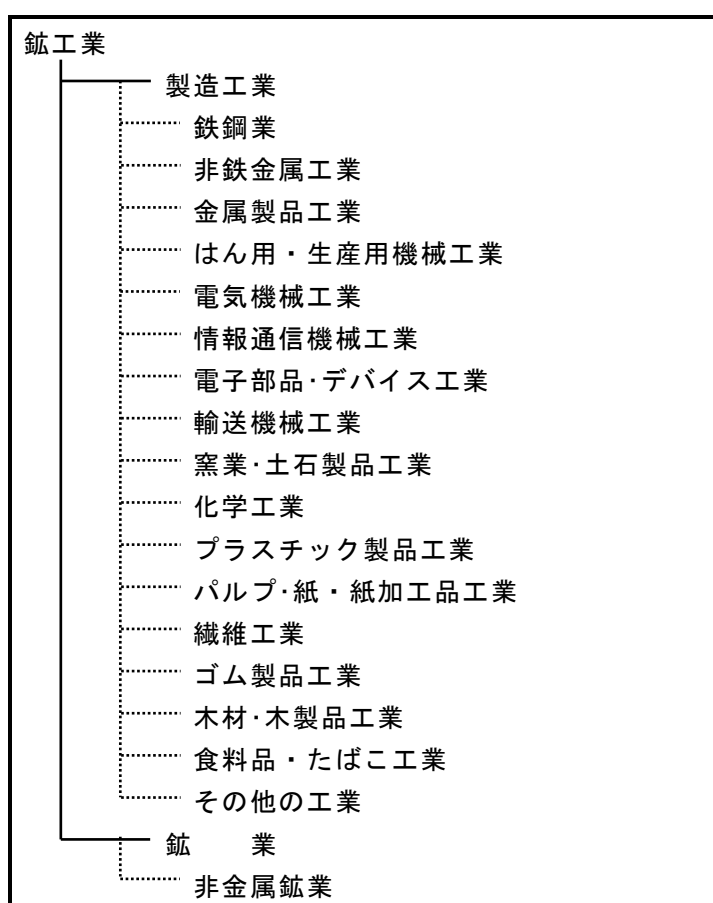
分類は、日本標準産業分類を基本とした業種分類と、品目の用途に着目し、財別に分類した特殊分類の2通りの方法によっています。

(1) 業種分類

平成22年基準指数の業種分類は、平成17年基準を踏襲しつつ、原則として日本標準産業分類(第12回改定)(平成21年3月統計基準設定)に準拠したものに改めています。

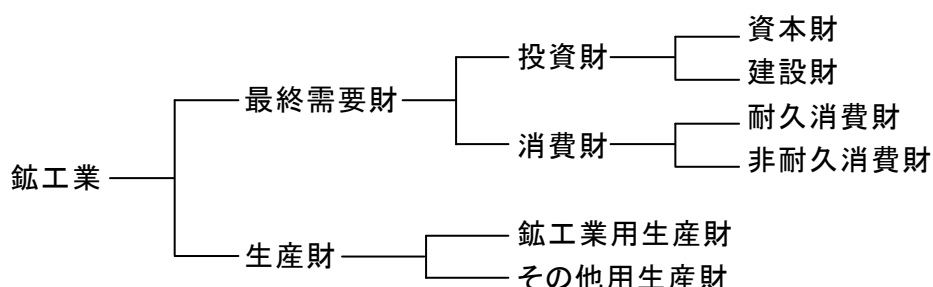
具体的には、平成17年基準において「一般機械工業」としていた業種分類を、「はん用・生産用機械工業」としています。

業種分類の構成は右表のとおりです。



(2) 特殊分類

特殊分類は、採用品目の経済的な用途によって分類したものであり、分類及び定義は次のとおりです。



財別格付けの定義

分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
投資財	資本財と建設財の合計。
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財。
建設財	住宅・建築用と土木・建設用の合計。
消費財	主として家計で購入される財。
耐久消費財	耐用年数が1年以上で比較的購入単価が高い製品。
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品。
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される製品。ただし、輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。
鉱工業用生産財	鉱工業の生産工程に原材料、燃料、部品、容器、消耗品、工具等として再投入される製品。
その他用生産財	非鉱工業用の原材料、燃料、容器、消耗品及び企業消費財。

3 採用品目

採用品目は、原則として基準時における付加価値額の大きなものから業種ごとに代表性、重要性、系列の信頼性等を総合的に検討し選定しています。生産指数及び出荷指数の採用品目数は平成17年基準から1品目増えて何れも143品目、在庫指数の採用品目数も1品目増えて94品目となっています。

4 ウェイト

ウェイトは、生産指数については付加価値額ウェイト、出荷指数は出荷額ウェイト、在庫指数は在庫額ウェイトです。

ウェイトは「平成22年工業統計調査」データを基礎とし、県内鉱工業全体（総合）の付加価値額、出荷額、在庫額の中に占める業種別の枠を設定し、その枠の中に品目群を当てはめるかたちで、全体に対する各品目の構成比（ウェイト）を算出しています。

5 指数の算式

算式は、個別系列を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）で行っており、算式は次のとおりです。

$$\text{個別指数} = \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times 100.0$$

$$\text{総合指数} = \frac{(\text{個別指数} \times \text{基準時ウェイト}) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}}$$

6 季節調整

季節調整とは、景気変動を知るために1年を周期とする規則的な変動要素（気象条件等の自然的要因、季節的慣習や決算期等の商習慣による社会要因）を取り除き調整することをいい、主に短期的な景気動向（前月比、前期比）の動きを見るために使用されています。

季節調整方法は、過去の系列から季節変動のパターンを抽出し、これを季節指数として原指数の調整を行うのが一般的であり、本県では、センサス局法（生産・出荷指数はX-12-ARIMA、在庫指数はX-12-ARIMAの中のX-11デフォルト）によって季節指数を求め、原指数を季節指数で除して季節調整済指数を算出しています。

7 資料出所

採用品目の月々の実績値は、主として経済産業省で実施している「経済産業省生産動態統計調査」（基幹統計）及び本県が実施している「熊本県生産動態統計調査」から求めています。

8 業種分類及び採用品目ウェイト

業種名	品目名	採用品目内訳	特殊 分類 格付	単位	生産指数 付加価値額 ウェイト	出荷指数 出荷額 ウェイト	在庫指数 在庫額 ウェイト
鉱工業					10000.0	10000.0	10000.0
製造工業					9999.0	9999.2	9989.2
鉄鋼業					56.8	132.1	291.4
	熱間圧延鋼材				x	x	x
		中形棒鋼	建	t			
		小形棒鋼	建	t			
		形鋼	建	t			
	鋼管				x	x	x
		鋼管	建	t			
	鋳鍛造品				x	x	x
		鋳鉄鋳物	鉱	t			
		鋳鉄管	建	t			
非鉄金属工業					173.2	180.1	114.1
	伸銅・アルミニウム圧延製品				x	x	x
		アルミニウム圧延製品 押出	鉱	t			
	電線・ケーブル				x	x	x
		絶縁電線	資	導体t			
	非鉄金属鋳物				x	x	-
		アルミニウムダイカスト	鉱	t			
金属製品工業					426.2	415.3	672.4
	建設用金属製品				43.2	48.1	-
		鉄骨	建	t			
		水門	建	t			
	建築用金属製品				341.7	327.9	597.9
		木造住宅用アルミニウムサッシ	建	t			
		ビル用アルミニウムサッシ	建	t			
		アルミニウムドア	建	t			
		アルミニウムエクステリア	建	t			
		その他のアルミニウム製建具	建	t			
	その他の金属製品				41.3	39.3	74.5
		架線金物	他	千個			
		スチールケース	資	個			
		金網	建	t			
		自動車用線ばね	鉱	kg			
		超硬チップ	鉱	kg			
はん用・生産用機械工業					1325.0	1108.0	1059.7
	はん用内燃機関				x	x	x
		はん用内燃機関	鉱	PS			
	農業用機械				x	x	x
		コンバイン	資	台			
	特殊産業機械				1004.9	782.6	-
		半導体製造装置	資	百万円			
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	資	百万円			
	運搬機械				x	x	-
		クレーン	資	t			
	化学装置				x	x	-
		塔槽機器	資	t			
		反応用機器	資	t			
	金型				7.2	4.6	-
		金型	資	kg			
	産業用ロボット				74.5	47.2	-
		産業用ロボット	資	台			

業種名	品目名	採用品目内訳	特殊 分類 格付	単位	生産指数 付加価値額 ウェイト	出荷指数 出荷額 ウェイト	在庫指数 在庫額 ウェイト
電気機械工業					804.7	539.6	523.2
	開閉制御装置・機器				444.3	252.3	0.1
		開閉制御装置	資	百万円			
		電磁リレー	鉦	千台			
		保護継電器	資	台			
		検出スイッチ	鉦	千個			
		マイクロスイッチ	鉦	千個			
	電気計測器				x	x	-
		電気測定器	資	百万円			
	その他の電気機械				x	x	x
		太陽電池モジュール	耐	kw			
情報通信機械工業					242.9	108.8	32.7
	通信機械				x	x	x
		交換機	資	百万円			
		ボタン電話装置	資	台			
	電子計算機付属装置				x	x	-
		外部記憶装置	資	台			
電子部品・デバイス工業					1823.9	1737.9	766.8
	半導体素子				x	x	x
		半導体素子	鉦	千個			
	集積回路				1312.4	1273.9	65.0
		モス型半導体集積回路(マイコン)	鉦	百万円			
		モス型半導体集積回路(ロジック)	鉦	百万円			
		モス型半導体集積回路(メモリ)	鉦	百万円			
		モス型半導体集積回路(CCD)	鉦	百万円			
		線形半導体集積回路	鉦	百万円			
	電子部品				x	x	x
		プリント配線板	鉦	m ²			
		アクティブ型液晶素子	鉦	百万円			
輸送機械工業					1293.4	1847.4	386.8
	自動車				x	x	x
		二輪自動車(125ml超)	耐	台			
		二輪自動車(125ml以下)	耐	台			
	自動車部品				x	x	-
		機関部品	鉦	個			
		シャシー及び車体部品	鉦	個			
		スイッチ類	鉦	千個			
		イグニッションコイル	鉦	千個			
		特装ボデー	鉦	台			
		消音器	鉦	個			
		二輪自動車用エンジン	鉦	百万円			
		ブレーキ装置	鉦	個			
	船舶				x	x	x
		鋼船	資	GT			
		プラスチック製舟艇	資	隻			
		船用ディーゼル機関	鉦	千PS			
窯業・土石製品工業					261.2	249.3	693.7
	ガラス・同製品				x	x	-
		複層ガラス	鉦	m ²			
	生コンクリート				76.4	88.4	-
		生コンクリート	建	m ³			

業種名	品目名	採用品目内訳	特殊 分類 格付	単位	生産指数 付加価値額 ウェイト	出荷指数 出荷額 ウェイト	在庫指数 在庫額 ウェイト
	コンクリート・セメント製品				91.5	79.9	658.9
		遠心力鉄筋コンクリート製品	建	t			
		空洞コンクリートブロック	建	千個			
		護岸用コンクリートブロック	建	t			
		道路用コンクリート製品	建	t			
		セメント瓦	建	千m ²			
		軽量気泡コンクリート	建	m ³			
	陶磁器				x	x	x
		電気用品	資	t			
	その他の窯業・土石製品				x	x	x
		ブラシ	鉱	kg			
		特殊炭素製品	鉱	t			
		石灰	鉱	t			
化学工業					868.7	846.8	1224.1
	化学肥料				x	x	x
		複合肥料	他	t			
	無機薬品・高圧ガス				x	x	x
		窒素	鉱	千m ³			
		硫酸アルミニウム	鉱	t			
	有機薬品				x	x	x
		酢酸	鉱	t			
		発酵エチルアルコール	鉱	kl			
	プラスチック				x	x	x
		ポリビニルアルコール	鉱	t			
		その他の樹脂	鉱	t			
	合成洗剤・化粧品				x	x	x
		合成洗剤	非	t			
		クレンザー	非	t			
		漂白剤	非	t			
		皮膚用化粧品	非	t			
	塗料				x	x	x
		合成樹脂塗料	鉱	t			
	医薬品				387.1	447.5	-
		医薬品	非	百万円			
プラスチック製品工業					478.8	425.7	571.7
	プラスチック製パイプ・建材				x	x	x
		プラスチック製パイプ	建	t			
		プラスチック製建材	建	t			
	プラスチックフィルム				277.8	258.3	261.1
		プラスチックフィルム	鉱	t			
	工業用プラスチック製品				57.2	60.5	37.0
		プラスチック製機械器具部品	鉱	t			
	発泡・強化プラスチック製品				x	x	x
		強化プラスチック製品	建	t			
		発泡プラスチック製品	建	t			
	その他のプラスチック製品				127.1	83.3	225.5
		日用品・雑貨プラスチック製品	非	t			
		プラスチック製容器	非	t			
		その他のプラスチック製品	他	t			
パルプ・紙・紙加工品工業					348.7	285.0	713.3
	紙				x	x	x
		新聞巻取紙	鉱	t			
		印刷用紙(非塗工類)	鉱	t			
		情報用紙	鉱	t			

業種名	品目名	採用品目内訳	特殊 分類 格付	単位	生産指数 付加価値額 ウェイト	出荷指数 出荷額 ウェイト	在庫指数 在庫額 ウェイト
	紙加工品	段ボール	鋳	千㎡	x	x	x
繊維工業					132.7	99.3	567.6
	紡績	綿糸	鋳	t	x	x	x
		合成繊維糸	鋳	t			
		ビスコーススフ糸	鋳	t			
	織物	タイヤコード	鋳	t	x	x	x
		タオル	非	t			
	衣類	織物製外衣	非	千点	75.3	53.6	275.8
		ニット製外衣	非	千点			
		下着・補正着	非	千点			
		靴下	非	千点			
	その他の繊維製品	漁網・陸上網	資	t	x	x	x
		ふとん	耐	枚			
ゴム製品工業					147.0	142.1	267.3
	ゴムホース	ゴムホース	鋳	千m	x	x	x
	工業用ゴム製品	パッキン類	鋳	新ゴム量t	x	x	x
		その他の工業用ゴム製品	鋳	新ゴム量t			
木材・木製品工業					90.7	112.4	310.4
	一般製材	一般製材	建	m3	75.8	90.7	275.0
	合板	普通合板	建	m3	14.9	21.7	35.4
食料品・たばこ工業					1417.1	1667.7	1733.1
	肉製品	枝肉	鋳	t	406.6	586.6	14.9
		ハム・ソーセージ	非	t			
		ブロイラー	鋳	千羽			
	乳製品	練粉乳	鋳	t	173.0	221.3	102.4
		飲用牛乳	非	kl			
		乳酸飲料	非	kl			
	製粉・製粉製品	小麦粉	鋳	t	x	x	x
	調味料	みそ	非	t	73.1	38.0	216.6
		しょう油	非	kl			
	その他の食料品	缶詰	非	t	170.5	136.2	278.5
		加工海苔	非	千枚			
		冷凍調理食品	非	t			
	飲料	清涼飲料	非	kl	479.1	378.5	48.0
		ビール	非	kl			
		発泡酒	非	kl			
		焼酎	非	kl			
		清酒	非	kl			

業種名	品目名	採用品目内訳	特殊 分類 格付	単位	生産指数 付加価値額 ウェイト	出荷指数 出荷額 ウェイト	在庫指数 在庫額 ウェイト
	たばこ				x	x	x
		葉たばこ	鉱	t			
	飼料				x	x	x
		配合飼料	他	t			
その他の工業					108.0	101.7	60.9
家具工業					x	x	x
		金属製棚	資	個			
印刷業					77.5	69.2	-
		平版印刷	他	百万円			
		フレキソ印刷	他	百万円			
		孔版印刷(スクリーン印刷)	他	百万円			
		その他の印刷方式	他	百万円			
その他製品工業					x	x	x
		ミシン針	非	千本			
		畳表	非	千枚			
鉱業					1.0	0.8	10.8
非金属鉱業					1.0	0.8	10.8
		陶石	鉱	t			
		石灰石	鉱	t			

※特殊分類格付けは略記しており、それぞれ次の分類を指す。

資:資本財 建:建設財 耐:耐久消費財 非:非耐久消費財

鉱:鉱工業用生産財 他:その他用生産財

Ⅱ 平成26年熊本県鉱工業指数の動向

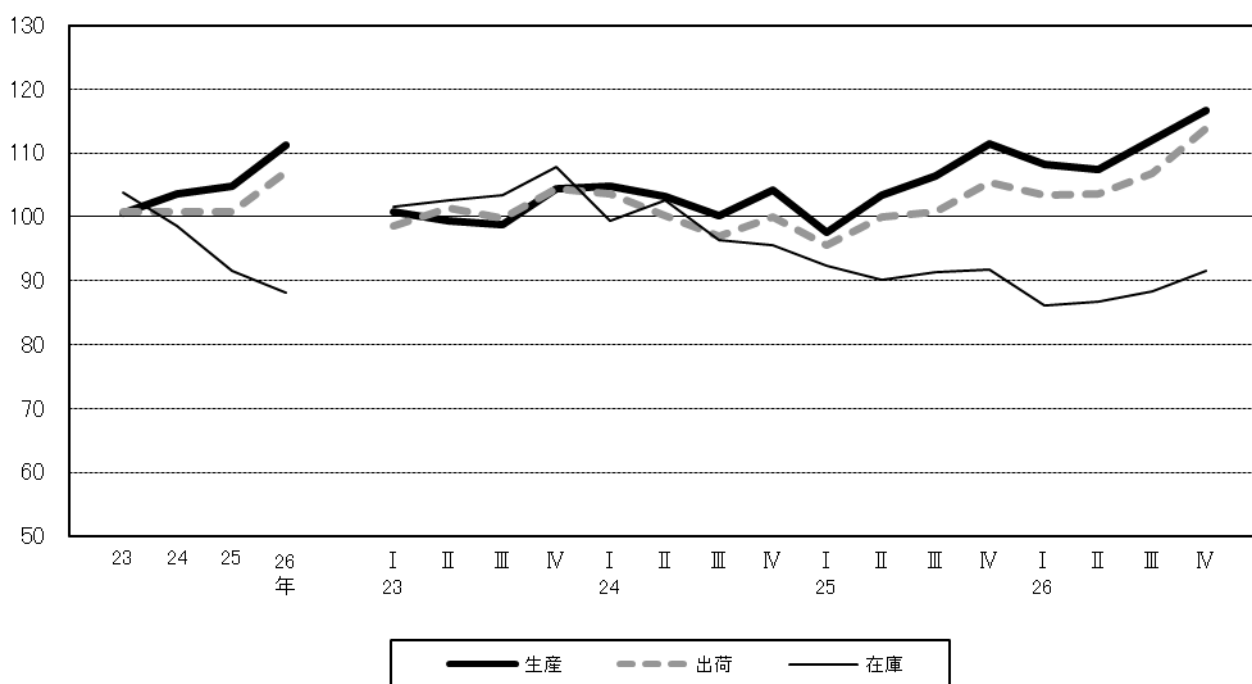
1 概況

本県における平成26年の鉱工業生産指数(原指数)は、前年比+6.1%の111.3でした。四半期別(季節調整済指数)に見ると、23~24年はほぼ横ばいで推移し、25~26年は上昇傾向で推移しました。

出荷指数は前年比+6.4%の107.1でした。四半期別に見ると、生産指数と同様に、23~24年はほぼ横ばいで推移し、25~26年は上昇傾向で推移しました。

在庫指数は前年比▲3.7%の88.2でした。四半期別に見ると、24~26年(1~3月期)までは低下傾向にありましたが、26年(4~6月期)以降は上昇傾向で推移しました。

第1図 熊本県鉱工業生産・出荷・在庫指数の推移(H22=100)



第1表 熊本県鉱工業指数及び増減率(平成22年=100)

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	104.9	111.3	97.5	103.4	106.4	111.4	108.3	107.5	112.1	116.7
前期比	-	-	▲6.4	6.1	2.9	4.7	▲2.8	▲0.7	4.3	4.1
前年(同期)比	1.3	6.1	▲9.7	▲0.1	5.7	9.2	10.3	1.8	5.1	7.4
出荷指数	100.7	107.1	95.6	99.9	100.8	105.4	103.3	103.6	106.9	113.9
前期比	-	-	▲4.4	4.5	0.9	4.6	▲2.0	0.3	3.2	6.5
前年(同期)比	▲0.1	6.4	▲9.8	▲0.2	2.6	7.4	7.4	2.5	5.4	9.6
在庫指数	91.6	88.2	92.4	90.2	91.4	91.8	86.1	86.8	88.4	91.5
前期比	-	-	▲3.3	▲2.4	1.3	0.4	▲6.2	0.8	1.8	3.5
前年(同期)比	▲7.0	▲3.7	▲7.6	▲12.8	▲4.9	▲2.7	▲7.5	▲4.5	▲3.8	1.0

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(1)生産の動向

生産指数は、前年比+6.1%の111.3となり、平成22年以降5年連続で上昇しました。

業種別では、電子部品・デバイス工業(前年比+20.6%)、化学工業(同+16.1%)など9業種が上昇し、電気機械工業(同▲23.5%)、食料品・たばこ工業(▲3.7%)など6業種が低下しました。また、窯業・土石製品工業は横ばいでした。

四半期別では、1～3月期、4～6月期が低下し、7～9月期、10～12月期が上昇しました。

① 1～3月期

前期比▲2.8%の108.3となり、4期ぶりに低下しました。業種別に見ると、化学工業(前期比+6.7%)、その他の工業(同+47.5%)など9業種が上昇し、電子部品・デバイス工業(同▲13.8%)、はん用・生産用機械工業(同▲7.4%)など7業種が低下しました。

② 4～6月期

前期比▲0.7%の107.5となり、2期連続で低下しました。業種別に見ると、電子部品・デバイス工業(同+11.6%)、化学工業(同+6.4%)、など9業種が上昇し、はん用・生産用機械工業(同▲12.5%)、電気機械工業(同▲20.1%)など7業種が低下しました。

③ 7～9月期

前期比+4.3%の112.1となり、3期ぶりに上昇しました。業種別に見ると、電子部品・デバイス工業(同+21.3%)、化学工業(同+4.6%)、など5業種が上昇し、輸送機械工業(同▲10.9%)、はん用・生産用機械工業(同▲5.5%)など11業種が低下しました。

④ 10～12月期

前期比+4.1%の116.7となり、2期連続で上昇しました。業種別に見ると、はん用・生産用機械工業(同+19.6%)、電子部品・デバイス工業(同+6.3%)など9業種が上昇し、ゴム製品工業(同▲4.1%)、非鉄金属工業(同▲2.5%)など7業種が低下しました。

第2表 主な上昇・低下業種の対前年増減率及び寄与度(生産)

	業 種	増減率(%)	業 種	寄与度(%)
上 昇	その他の工業	39.1	電子部品・デバイス工業	5.04
	電子部品・デバイス工業	20.6	化学工業	1.43
	化学工業	16.1	はん用・生産用工業	1.16
低 下	食料品・たばこ工業	▲3.7	非鉄金属工業	▲0.07
	非鉄金属工業	▲3.9	食料品・たばこ工業	▲0.50
	電気機械工業	▲23.5	電気機械工業	▲1.54

第3表 業種別対前年増減率（生産）

区 分	ウエイト	原 指 数					前 年 比(%)					寄与度 (%)
		平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年	
鉄 工 業	10000.0	100.0	100.5	103.6	104.9	111.3	17.2	0.5	3.1	1.3	6.1	6.10
製 造 工 業	9999.0	100.0	100.5	103.6	104.9	111.3	17.2	0.5	3.1	1.3	6.1	6.10
鉄 鋼 業	56.8	100.0	101.3	109.4	116.9	118.6	14.9	1.3	8.0	6.9	1.5	0.01
非鉄金属工業	173.2	100.0	113.1	114.7	114.4	109.9	16.0	13.1	1.4	▲0.3	▲3.9	▲0.07
金属製品工業	426.2	100.0	124.3	144.1	139.0	142.5	2.4	24.3	15.9	▲3.5	2.5	0.14
はん用・生産用機械工業	1325.0	100.0	117.1	101.2	104.0	113.2	122.7	17.1	▲13.6	2.8	8.8	1.16
電気機械工業	804.7	100.0	86.6	78.8	85.4	65.3	107.0	▲13.4	▲9.0	8.4	▲23.5	▲1.54
情報通信機械工業	242.9	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
電子部品・デバイス工業	1823.9	100.0	93.6	132.9	141.0	170.1	1.4	▲6.4	42.0	6.1	20.6	5.04
輸送機械工業	1293.4	100.0	103.2	97.9	87.3	87.2	5.3	3.2	▲5.1	▲10.8	▲0.1	▲0.01
窯業・土石製品工業	261.2	100.0	101.4	86.5	99.3	99.3	12.2	1.4	▲14.7	14.8	0.0	0.00
化学工業	868.7	100.0	98.4	102.4	107.9	125.3	12.1	▲1.6	4.1	5.4	16.1	1.43
プラスチック製品工業	478.8	100.0	104.1	97.8	96.2	95.2	15.3	4.1	▲6.1	▲1.6	▲1.0	▲0.04
パルプ・紙・紙加工工業	348.7	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
繊維工業	132.7	100.0	100.4	93.5	85.1	83.2	▲0.9	0.4	▲6.9	▲9.0	▲2.2	▲0.02
ゴム製品工業	147.0	100.0	111.8	106.6	109.6	121.2	52.9	11.8	▲4.7	2.8	10.6	0.17
木材・木製品工業	90.7	100.0	91.2	79.2	82.6	82.7	34.4	▲8.8	▲13.2	4.3	0.1	0.00
食料品・たばこ工業	1417.1	100.0	103.0	100.5	100.2	96.5	▲3.0	3.0	▲2.4	▲0.3	▲3.7	▲0.50
その他の工業	108.0	100.0	102.6	101.8	82.2	114.3	7.2	2.6	▲0.8	▲19.3	39.1	0.33
鉄 業	1.0	100.0	70.7	50.2	44.0	49.0	▲7.9	▲29.3	▲29.0	▲12.4	11.4	0.00

第4表 業種別対前期増減率（生産）

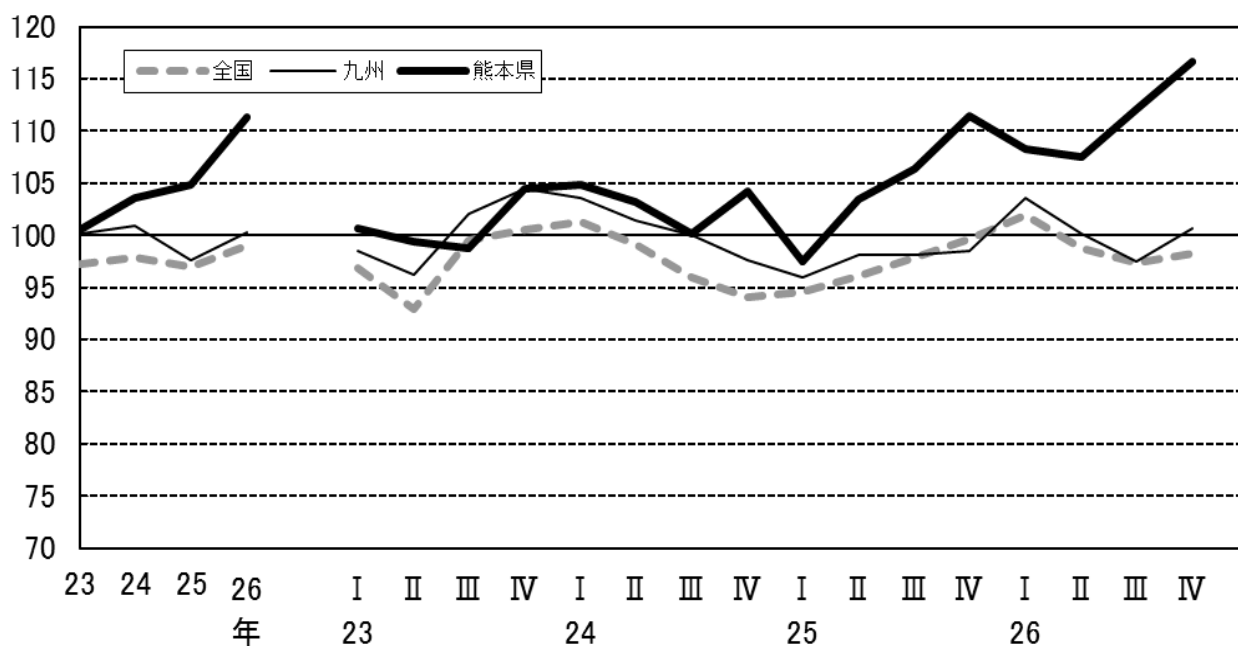
区 分	季 節 調 整 済 指 数						前 期 比(%)					
	平成25年		平成26年				平成25年		平成26年			
	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
	7~9 月期	10~12 月期	1~3 月期	4~6 月期	7~9 月期	10~12 月期	7~9 月期	10~12 月期	1~3 月期	4~6 月期	7~9 月期	10~12 月期
鉄 工 業	106.4	111.4	108.3	107.5	112.1	116.7	2.9	4.7	▲2.8	▲0.7	4.3	4.1
製 造 工 業	106.3	111.4	108.4	107.5	112.1	116.7	2.8	4.8	▲2.7	▲0.8	4.3	4.1
鉄 鋼 業	114.2	126.3	116.8	120.3	120.1	117.4	1.1	10.6	▲7.5	3.0	▲0.2	▲2.2
非鉄金属工業	115.4	111.3	117.7	113.4	105.9	103.2	▲1.5	▲3.6	5.8	▲3.7	▲6.6	▲2.5
金属製品工業	139.7	142.8	148.0	150.4	137.0	136.3	▲0.9	2.2	3.6	1.6	▲8.9	▲0.5
はん用・生産用機械工業	110.4	131.8	122.0	106.8	100.9	120.7	33.2	19.4	▲7.4	▲12.5	▲5.5	19.6
電気機械工業	84.8	90.1	74.6	59.6	59.8	66.7	▲5.0	6.3	▲17.2	▲20.1	0.3	11.5
情報通信機械工業	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
電子部品・デバイス工業	138.6	158.7	136.8	152.7	185.3	197.0	▲9.6	14.5	▲13.8	11.6	21.3	6.3
輸送機械工業	85.2	91.8	93.4	89.4	79.7	85.3	1.7	7.7	1.7	▲4.3	▲10.9	7.0
窯業・土石製品工業	100.8	104.4	105.1	98.0	97.5	97.0	5.8	3.6	0.7	▲6.8	▲0.5	▲0.5
化学工業	112.3	107.2	114.4	121.7	127.3	133.7	9.2	▲4.5	6.7	6.4	4.6	5.0
プラスチック製品工業	95.5	95.2	93.7	94.5	95.3	97.3	▲1.3	▲0.3	▲1.6	0.9	0.8	2.1
パルプ・紙・紙加工工業	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
繊維工業	84.4	82.5	86.1	86.0	79.3	81.3	▲3.1	▲2.3	4.4	▲0.1	▲7.8	2.5
ゴム製品工業	108.7	118.5	123.6	125.3	120.6	115.6	1.1	9.0	4.3	1.4	▲3.8	▲4.1
木材・木製品工業	81.2	85.6	82.9	86.1	81.7	80.1	▲3.1	5.4	▲3.2	3.9	▲5.1	▲2.0
食料品・たばこ工業	100.7	100.4	94.7	97.8	96.3	97.3	2.0	▲0.3	▲5.7	3.3	▲1.5	1.0
その他の工業	82.7	84.0	123.9	111.2	107.1	112.7	1.8	1.6	47.5	▲10.3	▲3.7	5.2
鉄 業	42.4	38.3	42.8	50.6	54.1	47.5	▲17.0	▲9.7	11.7	18.2	6.9	▲12.2

第5表 全国、九州、熊本県の鉱工業生産指数の推移

	全 国		九 州		熊 本 県	
	指 数	前年(期)比%	指 数	前年(期)比%	指 数	前年(期)比%
23年	97.2	▲ 2.8	100.1	0.1	100.5	0.5
24年	97.8	0.6	100.9	0.8	103.6	3.1
25年	97.0	▲ 0.8	97.6	▲ 3.3	104.9	1.3
26年	99.0	2.1	100.3	2.8	111.3	6.1
平成23年 I 期	96.9	▲ 3.8	98.5	▲ 1.4	100.7	▲ 0.5
II 期	92.9	▲ 4.1	96.2	▲ 2.3	99.4	▲ 1.3
III 期	99.5	7.1	102.1	6.1	98.7	▲ 0.7
IV 期	100.5	1.0	104.4	2.3	104.5	5.9
平成24年 I 期	101.3	0.8	103.6	▲ 0.8	104.9	0.4
II 期	99.1	▲ 2.2	101.4	▲ 2.1	103.2	▲ 1.6
III 期	95.9	▲ 3.2	100.0	▲ 1.4	100.2	▲ 2.9
IV 期	94.1	▲ 1.9	97.6	▲ 2.4	104.2	4.0
平成25年 I 期	94.6	0.5	95.9	▲ 1.7	97.5	▲ 6.4
II 期	96.1	1.6	98.1	2.3	103.4	6.1
III 期	97.8	1.8	98.1	0.0	106.4	2.9
IV 期	99.6	1.8	98.5	0.4	111.4	4.7
平成26年 I 期	101.9	2.3	103.6	5.2	108.3	▲ 2.8
II 期	98.8	▲ 3.0	100.1	▲ 3.4	107.5	▲ 0.7
III 期	97.4	▲ 1.4	97.5	▲ 2.6	112.1	4.3
IV 期	98.2	0.8	100.7	3.3	116.7	4.1

※年指数値等は原指数、各期の指数値等は季節調整済指数

第2図 全国、九州、熊本県の鉱工業生産指数推移



(2) 出荷の動向

出荷指数は前年比+6.4%の107.1となり、2年ぶりに上昇しました。

業種別では、電子部品・デバイス工業(前年比+26.2%)、化学工業(同+19.3%)など8業種が上昇し、電気機械工業(同▲30.7%)、食料品・たばこ工業(同▲4.0%)など7業種が低下しました。鉄鋼業は横ばいでした。

四半期別では、1～3月期(前期比▲2.0%)が4期ぶりに低下し、その後は4～6月期(同+0.3%)、7～9月期(同+3.2%)、10～12月期(同+6.5%)と3期連続で上昇しました。

第6表 主な上昇・低下業種の対前年増減率及び寄与度(出荷)

	業 種	増減率(%)	業 種	寄与度(%)
上	その他の工業	54.6	電子部品・デバイス工業	5.50
	電子部品・デバイス工業	26.2	化学工業	1.75
昇	化学工業	19.3	はん用・生産用工業	0.49
低	繊維工業	▲3.6	輸送機械工業	▲0.06
	食料品・たばこ工業	▲4.0	食料品・たばこ工業	▲0.65
下	電気機械工業	▲30.7	電気機械工業	▲1.32

第7表 業種別対前年増減率(出荷)

区 分	ウエイト	原 指 数					前 年 比(%)					寄与度(%)
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
鉱 工 業	10000.0	100.0	100.7	100.8	100.7	107.1	11.1	0.7	0.1	▲0.1	6.4	6.40
製 造 工 業	9999.2	100.0	100.7	100.8	100.7	107.1	11.1	0.7	0.1	▲0.1	6.4	6.40
鉄 鋼 業	132.1	100.0	100.9	108.0	116.0	116.0	14.5	0.9	7.0	7.4	0.0	0.00
非 鉄 金 属 工 業	180.1	100.0	94.7	88.4	82.2	89.6	24.7	▲5.3	▲6.7	▲7.0	9.0	0.13
金 属 製 品 工 業	415.3	100.0	122.4	141.0	137.8	140.5	3.1	22.4	15.2	▲2.3	2.0	0.11
はん用・生産用機械工業	1108.0	100.0	117.4	102.2	103.7	108.2	86.6	17.4	▲12.9	1.5	4.3	0.49
電 気 機 械 工 業	539.6	100.0	82.0	75.0	80.4	55.7	125.7	▲18.0	▲8.5	7.2	▲30.7	▲1.32
情報通信機械工業	108.8	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
電子部品・デバイス工業	1737.9	100.0	92.6	115.4	121.5	153.3	▲2.5	▲7.4	24.6	5.3	26.2	5.50
輸 送 機 械 工 業	1847.4	100.0	101.8	93.8	84.7	84.4	5.3	1.8	▲7.9	▲9.7	▲0.4	▲0.06
窯業・土石製品工業	249.3	100.0	102.4	90.4	103.2	101.9	11.6	2.4	▲11.7	14.2	▲1.3	▲0.03
化 学 工 業	846.8	100.0	98.3	100.5	107.6	128.4	12.2	▲1.7	2.2	7.1	19.3	1.75
プラスチック製品工業	425.7	100.0	108.4	101.1	102.8	101.9	13.1	8.4	▲6.7	1.7	▲0.9	▲0.04
パルプ・紙・紙加工品工業	285.0	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
繊 維 工 業	99.3	100.0	99.5	92.4	84.4	81.4	▲0.4	▲0.5	▲7.1	▲8.7	▲3.6	▲0.03
ゴ ム 製 品 工 業	142.1	100.0	110.2	111.6	117.0	126.9	41.2	10.2	1.3	4.8	8.5	0.14
木 材 ・ 木 製 品 工 業	112.4	100.0	94.0	79.2	84.3	82.5	33.7	▲6.0	▲15.7	6.4	▲2.1	▲0.02
食料品・たばこ工業	1667.7	100.0	101.6	100.6	96.5	92.6	▲7.9	1.6	▲1.0	▲4.1	▲4.0	▲0.65
そ の 他 の 工 業	101.7	100.0	102.5	106.1	81.8	126.5	7.5	2.5	3.5	▲22.9	54.6	0.45
鉱 業	0.8	100.0	72.0	50.0	45.2	51.2	▲9.1	▲28.0	▲30.6	▲9.6	13.3	0.00

(3)在庫の動向

在庫指数は前年比▲3.7%の88.2となり、3年連続で低下しました。

業種別では、食料品・たばこ工業(前年比+8.1%)や金属製品工業(同+17.7%)など10業種が上昇し、窯業・土石製品工業(同▲14.7%)など5業種が低下しました。

四半期別では、1～3月期(前期比▲6.2%)が3期ぶりに低下し、その後、4～6月期(同+0.8%)、7～9月期(同+1.8%)、10～12月期(同+3.5%)と3期連続で上昇しました。

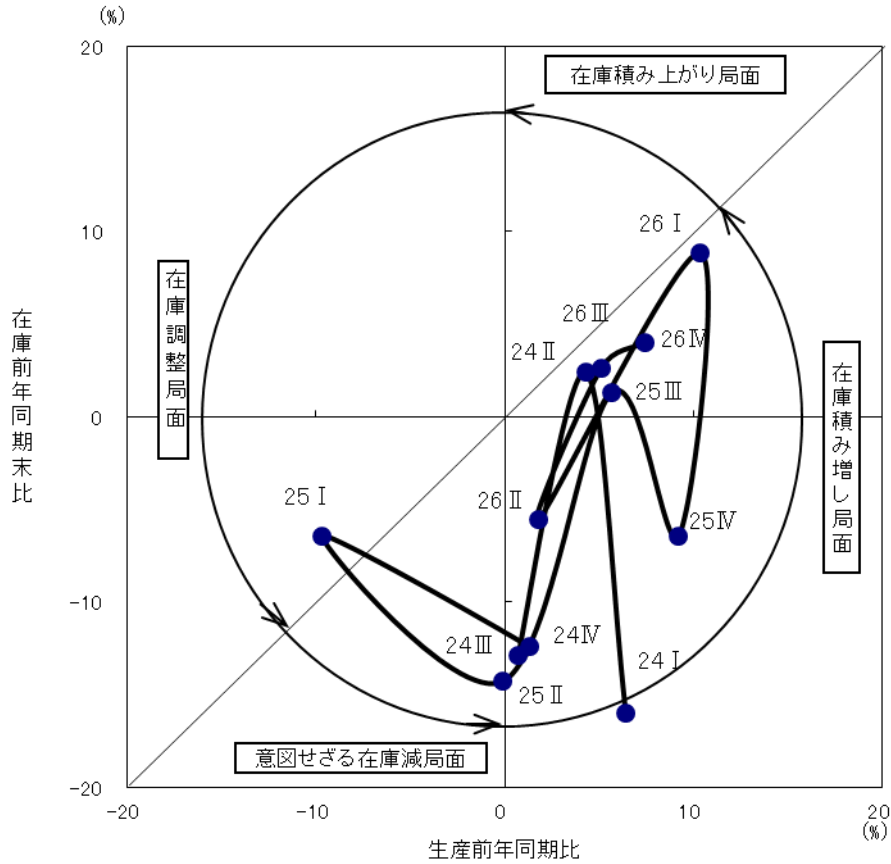
第8表 主な上昇・低下業種の対前年増減率及び寄与度(在庫)

	業 種	増減率(%)	業 種	寄与度(%)
上 昇	輸送機械工業	31.3	食料品・たばこ工業	1.70
	ゴム製品工業	25.8	金属製品工業	1.70
	鉄鋼業	18.0	化学工業	1.69
低 下	窯業・土石製品工業	▲14.7	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.24
	鋁業	▲28.3	電子部品・デバイス工業	▲0.72
	電子部品・デバイス工業	▲42.2	窯業・土石製品工業	▲1.02

第9表 業種別対前年増減率(在庫)

区 分	ウェイト	原 指 数					前 年 比(%)					寄与度 (%)
		平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	
		鋁 工 業	10000.0	100.0	103.8	98.5	91.6	88.2	▲17.1	3.8	▲5.1	
製 造 工 業	9989.2	100.0	103.8	98.5	91.6	88.3	▲17.1	3.8	▲5.1	▲7.0	▲3.6	▲3.68
鉄 鋼 業	291.4	100.0	104.7	114.6	119.9	141.5	1.4	4.7	9.5	4.6	18.0	0.70
非 鉄 金 属 工 業	114.1	100.0	91.2	82.5	71.4	72.1	▲2.7	▲8.8	▲9.5	▲13.5	1.0	0.01
金 属 製 品 工 業	672.4	100.0	113.1	118.9	127.4	150.0	▲10.0	13.1	5.1	7.1	17.7	1.70
はん用・生産用機械工業	1059.7	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
電 気 機 械 工 業	523.2	100.0	122.7	97.6	116.0	x	2.0	22.7	▲20.5	18.9	x	x
情 報 通 信 機 械 工 業	32.7	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
電子部品・デバイス工業	766.8	100.0	76.5	17.1	19.9	11.5	▲58.6	▲23.5	▲77.6	16.4	▲42.2	▲0.72
輸 送 機 械 工 業	386.8	100.0	104.3	49.6	101.7	133.5	▲33.7	4.3	▲52.4	105.0	31.3	1.37
窯業・土石製品工業	693.7	100.0	90.1	91.1	89.7	76.5	▲6.9	▲9.9	1.1	▲1.5	▲14.7	▲1.02
化 学 工 業	1224.1	100.0	88.4	83.7	89.9	102.3	▲6.7	▲11.6	▲5.3	7.4	13.8	1.69
プラスチック製品工業	571.7	100.0	89.4	79.5	76.4	81.8	10.5	▲10.6	▲11.1	▲3.9	7.1	0.34
パルプ・紙・紙加工品工業	713.3	100.0	101.7	121.4	116.2	113.2	▲1.7	1.7	19.4	▲4.3	▲2.6	▲0.24
織 維 工 業	567.6	100.0	118.4	87.9	47.9	45.5	▲1.0	18.4	▲25.8	▲45.5	▲5.0	▲0.15
ゴ ム 製 品 工 業	267.3	100.0	133.0	114.7	79.2	99.6	▲16.6	33.0	▲13.8	▲31.0	25.8	0.61
木 材 ・ 木 製 品 工 業	310.4	100.0	76.8	79.7	79.5	81.6	17.9	▲23.2	3.8	▲0.3	2.6	0.07
食 料 品 ・ た ば こ 工 業	1733.1	100.0	102.4	101.0	108.0	116.8	▲14.7	2.4	▲1.4	6.9	8.1	1.70
そ の 他 の 工 業	60.9	100.0	104.4	66.5	48.8	50.3	▲0.7	4.4	▲36.3	▲26.6	3.1	0.01
鋁 業	10.8	100.0	83.2	73.0	59.1	42.4	24.4	▲16.8	▲12.3	▲19.0	▲28.3	▲0.02

(参考)第3図 在庫循環図



1年間(平成26年 I 期～IV期)の在庫循環の動きを見ると、前年Ⅲ、Ⅳ期から引き続き「在庫積み増し局面」の中で推移しています。

※生産前年同期比 ……当年の各期の生産指数(原指数)を前年同期と比較したもの。

※在庫前年同期末比 ……当年の各期末月(3, 6, 9, 12月)の在庫指数(原指数)を前年同月と比較したもの。

《在庫局面について》

- ・意図せざる在庫減局面
需要の増加に追いつかず在庫が減少する。
- ・在庫積み増し局面
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対応する。
- ・在庫積み上がり局面
供給が需要より多くなると、在庫が、適正水準を超え在庫の積み上がりが起きる。
- ・在庫調整局面
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑制し在庫調整を図る。

2 業種別の動向

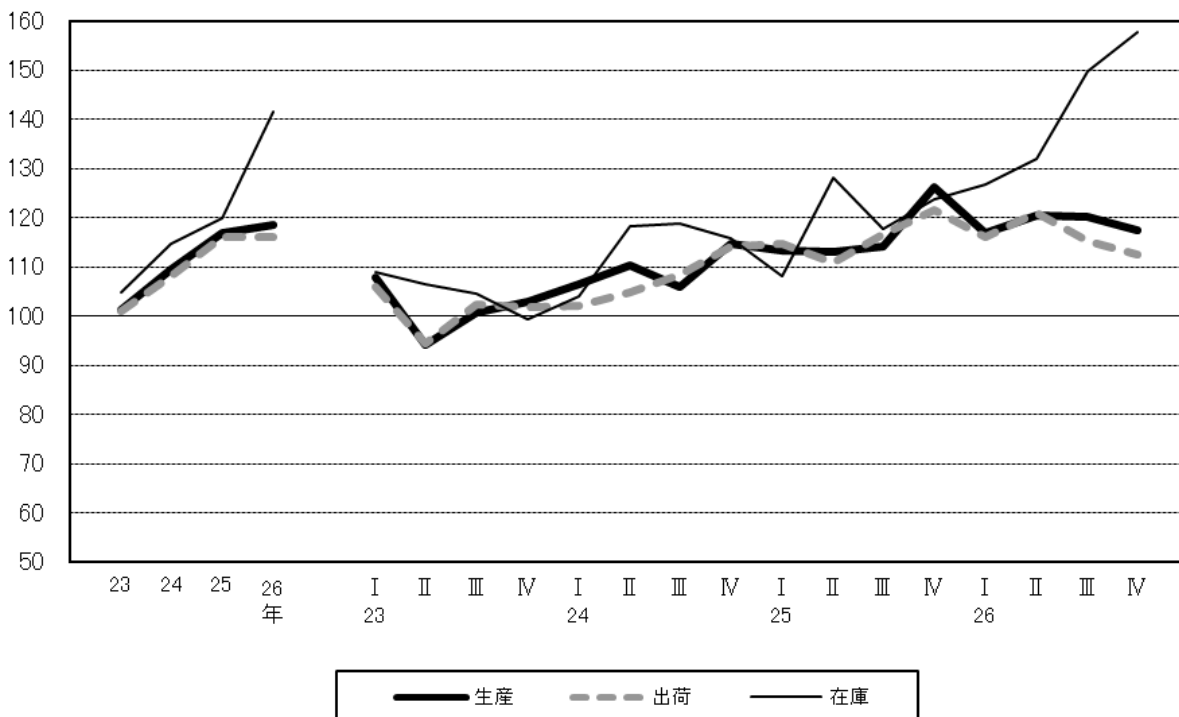
(1) 鉄鋼業

生産指数は、前年比+1.5%の118.6となり、5年連続で上昇しました。

出荷指数は、116.0となり、横ばいでした。

在庫指数は、同+18.0%の141.5となり、5年連続で上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲7.5%)は低下、4～6月期(同+3.0%)は上昇し、以降は7～9月期(同▲0.2%)、10～12月期(同▲2.2%)と2期連続で低下しました。



第10表 鉄鋼業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	116.9	118.6	113.4	113.0	114.2	126.3	116.8	120.3	120.1	117.4
前期比	-	-	▲1.2	▲0.4	1.1	10.6	▲7.5	3.0	▲0.2	▲2.2
前年(同期)比	6.9	1.5	8.7	2.0	5.7	10.9	1.7	6.0	4.3	▲4.9
出荷指数	116.0	116.0	114.8	110.8	116.5	121.6	116.1	121.0	115.2	112.6
前期比	-	-	0.7	▲3.5	5.1	4.4	▲4.5	4.2	▲4.8	▲2.3
前年(同期)比	7.4	0.0	11.1	4.1	6.7	7.7	▲0.3	9.4	▲1.0	▲6.6
在庫指数	119.9	141.5	108.0	128.2	117.7	123.6	126.6	131.9	149.6	157.8
前期比	-	-	▲6.7	18.7	▲8.2	5.0	2.4	4.2	13.4	5.5
前年(同期)比	4.6	18.0	2.1	12.4	▲2.1	4.8	15.3	2.2	29.1	29.5

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(2)非鉄金属工業

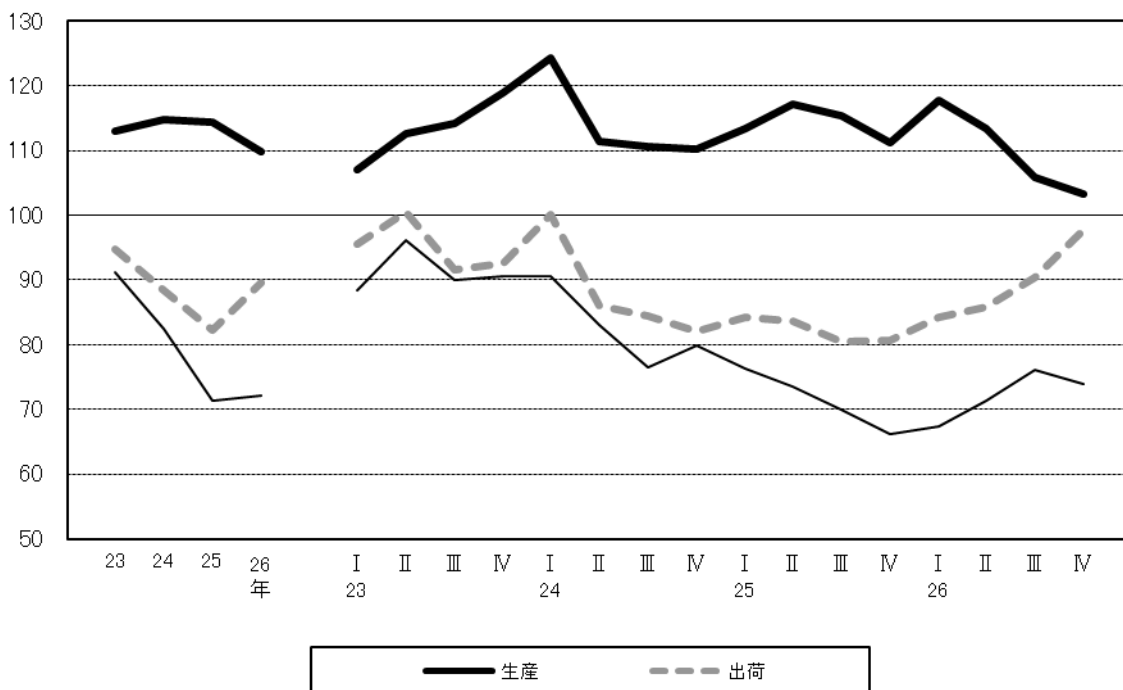
生産指数は、前年比▲3.9%の109.9となり、2年連続で低下しました。

出荷指数は、同+9.0%の89.6となり、4年ぶりに上昇しました。

在庫指数は、同+1.0%の72.1となり、6年ぶりに上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期に前期比+5.8%と3期ぶりに上昇した後、4～6月期(同▲3.7%)、7～9月期(同▲6.6%)、10～12月期(同▲2.5%)と3期連続で低下しました。

第5図 非鉄金属工業の推移(H22=100)



第11表 非鉄金属工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	114.4	109.9	113.5	117.2	115.4	111.3	117.7	113.4	105.9	103.2
前期比	-	-	2.9	3.3	▲1.5	▲3.6	5.8	▲3.7	▲6.6	▲2.5
前年(同期)比	▲0.3	▲3.9	▲10.4	6.3	4.2	0.0	3.9	▲2.5	▲8.1	▲8.5
出荷指数	82.2	89.6	84.2	83.6	80.5	80.7	84.3	85.9	90.4	97.7
前期比	-	-	2.6	▲0.7	▲3.7	0.2	4.5	1.9	5.2	8.1
前年(同期)比	▲7.0	9.0	▲15.7	▲1.1	▲6.6	▲3.0	2.3	1.1	12.1	21.5
在庫指数	71.4	72.1	76.2	73.5	70.0	66.2	67.4	71.3	76.0	73.9
前期比	-	-	▲4.6	▲3.5	▲4.8	▲5.4	1.8	5.8	6.6	▲2.8
前年(同期)比	▲13.5	1.0	▲16.0	▲10.6	▲9.2	▲17.5	▲12.4	▲3.2	10.9	10.3

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(3) 金属製品工業

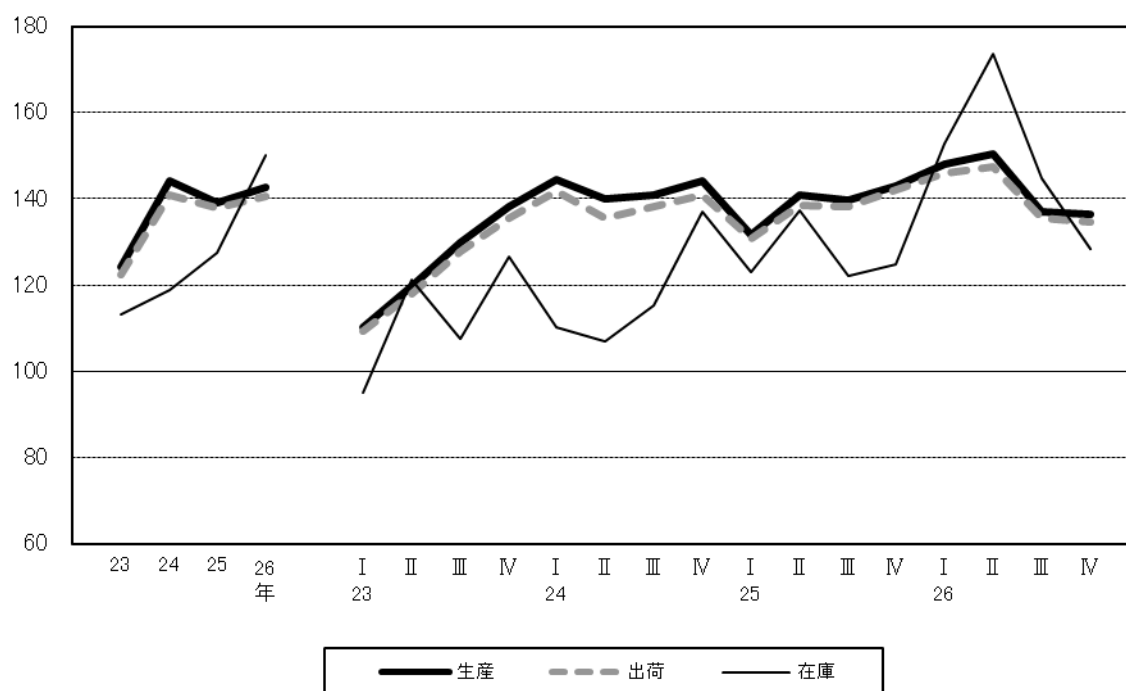
生産指数は、前年比+2.5%の142.5となり、2年ぶりに上昇しました。

出荷指数は、同+2.0%の140.5となり、2年ぶりに上昇しました。

在庫指数は、同+17.7%の150.0となり、4年連続で上昇した。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比+3.6%)、4～6月期(同+1.6%)と前年から引き続き3期連続で上昇した後、7～9月期(同▲8.9%)、10～12月期(同▲0.5%)と2期連続で低下しました。

第6図 金属製品工業の推移(H22=100)



第12表 金属製品工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	139.0	142.5	131.5	141.0	139.7	142.8	148.0	150.4	137.0	136.3
前期比	-	-	▲8.7	7.2	▲0.9	2.2	3.6	1.6	▲8.9	▲0.5
前年(同期)比	▲3.5	2.5	▲14.2	1.1	▲1.2	0.7	12.1	8.0	▲1.9	▲5.9
出荷指数	137.8	140.5	130.6	138.5	138.3	142.1	145.8	147.4	135.5	134.6
前期比	-	-	▲7.3	6.0	▲0.1	2.7	2.6	1.1	▲8.1	▲0.7
前年(同期)比	▲2.3	2.0	▲12.9	2.6	▲0.7	2.3	11.2	7.7	▲2.1	▲6.7
在庫指数	127.4	150.0	123.0	137.4	122.2	124.9	152.8	173.5	144.6	128.5
前期比	-	-	▲10.3	11.7	▲11.1	2.2	22.3	13.5	▲16.7	▲11.1
前年(同期)比	7.1	17.7	7.8	31.8	5.0	▲7.4	25.7	36.8	15.9	▲4.8

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

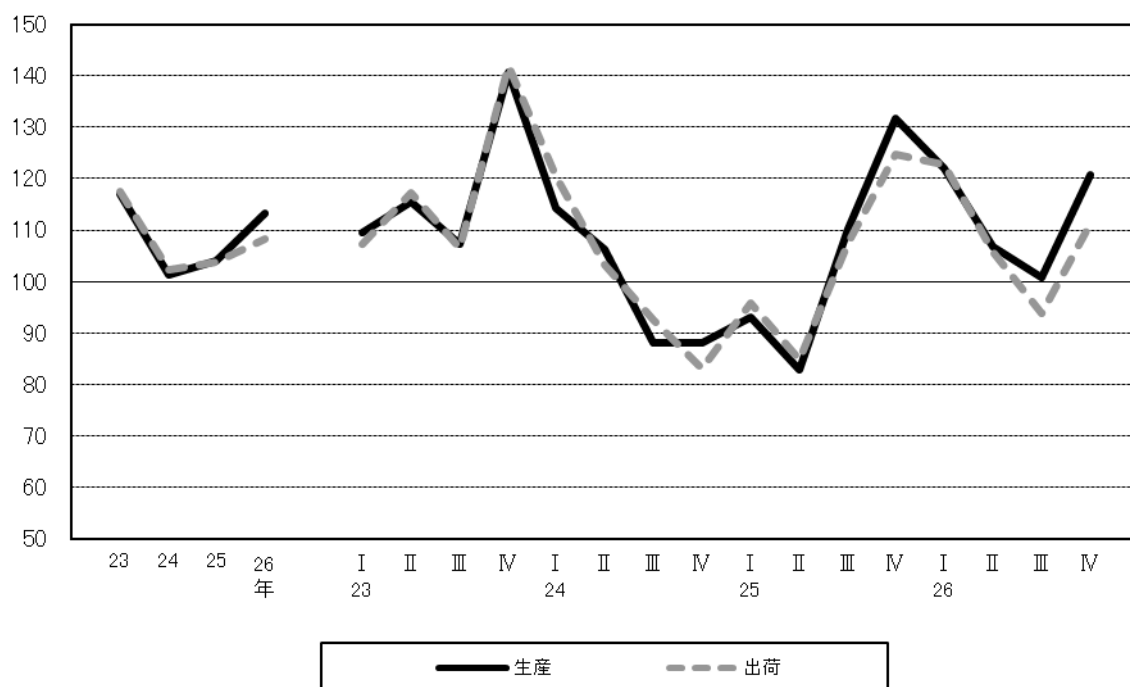
(4)はん用・生産用機械工業

生産指数は、前年比+8.8%の113.2となり、2年連続で上昇しました。

出荷指数は、同+4.3%の108.2となり、2年連続で上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、前年に2期連続で上昇した後、1～3月期(前期比▲7.4%)、4～6月期(同▲12.5%)、7～9月期(同▲5.5%)と3期連続で低下し、10～12月期(同+19.6%)は上昇しました。

第7図 はん用・生産用機械工業の推移(H22=100)



第13表 はん用・生産用工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	104.0	113.2	93.1	82.9	110.4	131.8	122.0	106.8	100.9	120.7
前期比	-	-	5.7	▲11.0	33.2	19.4	▲7.4	▲12.5	▲5.5	19.6
前年(同期)比	2.8	8.8	▲19.2	▲25.1	20.1	55.3	32.9	24.2	▲12.6	▲2.3
出荷指数	103.7	108.2	95.9	85.0	107.5	124.6	122.8	105.8	93.9	111.3
前期比	-	-	15.3	▲11.4	26.5	15.9	▲1.4	▲13.8	▲11.2	18.5
前年(同期)比	1.5	4.3	▲20.6	▲20.0	13.2	51.4	22.3	21.4	▲16.1	▲4.6
在庫指数	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
前期比	-	-	x	x	x	x	x	x	x	x
前年(同期)比	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

※ 在庫指数については、採用品目が少ないため秘匿とする

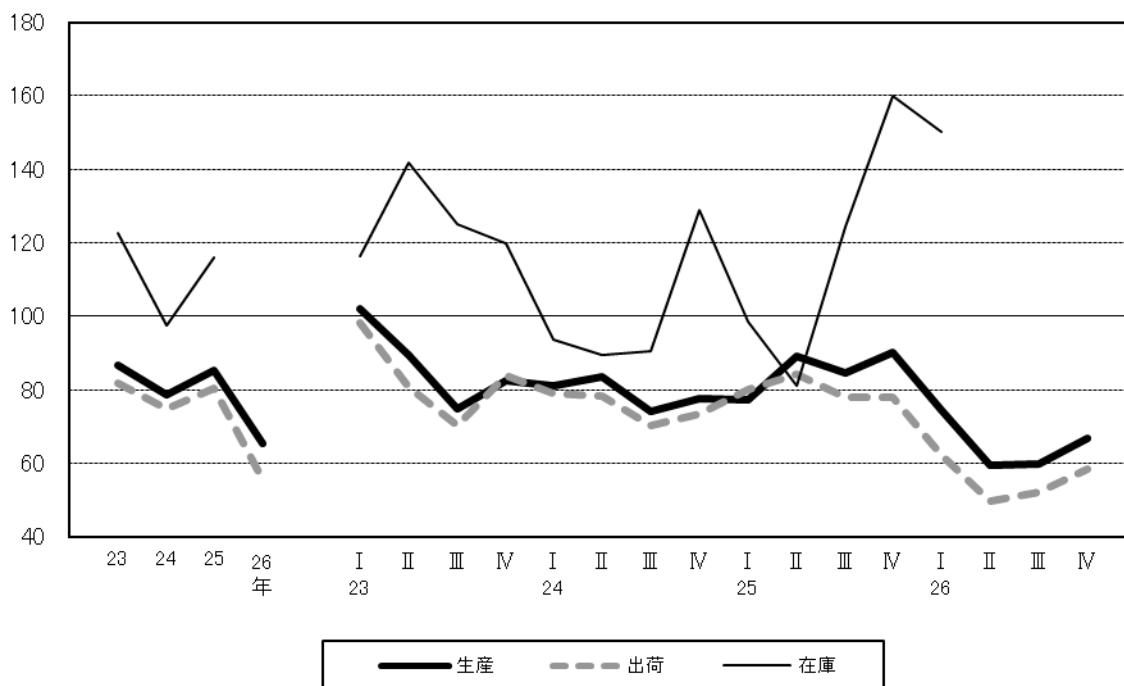
(5) 電気機械工業

生産指数は、前年比▲23.5%の65.3となり、2年ぶりに低下しました。

出荷指数は、同▲30.7%の55.7となり、2年ぶりに低下しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲17.2%)、4～6月期(同▲20.1%)と低下した後、7～9月期(同+0.3%)、10～12月期(同+11.5%)と2期連続で上昇しました。

第8図 電気機械工業の推移(H22=100)



第14表 電気機械工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	85.4	65.3	77.4	89.3	84.8	90.1	74.6	59.6	59.8	66.7
前期比	-	-	▲0.5	15.4	▲5.0	6.3	▲17.2	▲20.1	0.3	11.5
前年(同期)比	8.4	▲23.5	0.2	9.9	12.8	11.1	▲4.8	▲35.1	▲30.8	▲21.5
出荷指数	80.4	55.7	80.1	84.2	78.0	78.0	62.4	49.7	52.3	58.5
前期比	-	-	8.8	5.1	▲7.4	0.0	▲20.0	▲20.4	5.2	11.9
前年(同期)比	7.2	▲30.7	9.0	9.5	7.8	1.8	▲22.4	▲41.8	▲34.6	▲22.7
在庫指数	116.0	x	98.5	81.2	124.4	159.9	150.1	x	x	x
前期比	-	-	▲23.6	▲17.6	53.2	28.5	▲6.1	x	x	x
前年(同期)比	18.9	x	8.2	▲6.5	30.1	36.8	52.4	x	x	x

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(6) 電子部品・デバイス工業

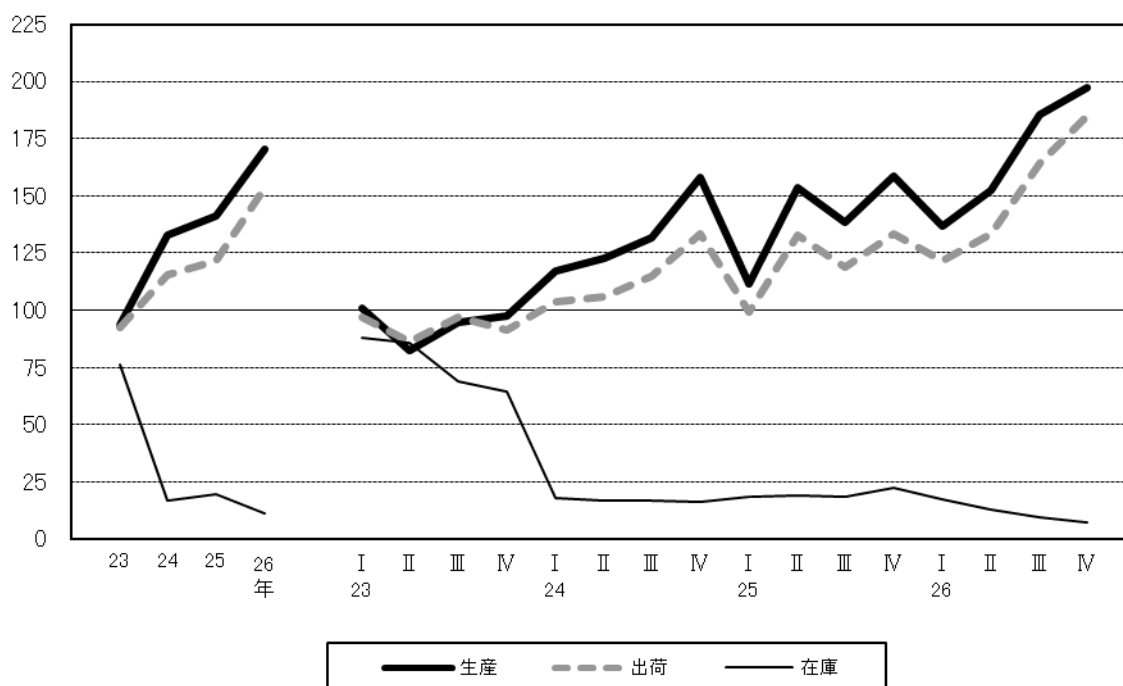
生産指数は、前年比+20.6%の170.1となり、3年連続で上昇しました。

出荷指数は、同+26.2%の153.3となり、3年連続で上昇しました。

在庫指数は、同▲42.2%の11.5となり、2年ぶりに低下しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期に前期比▲13.8%と2期ぶりに低下した後、4～6月期(同+11.6%)、7～9月期(同+21.3%)、10～12月期(同+6.3%)と3期連続で上昇しました。

第9図 電子部品・デバイス工業の推移(H22=100)



第15表 電子部品・デバイス工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	141.0	170.1	111.6	153.3	138.6	158.7	136.8	152.7	185.3	197.0
前期比	-	-	▲29.5	37.4	▲9.6	14.5	▲13.8	11.6	21.3	6.3
前年(同期)比	6.1	20.6	▲11.6	24.3	5.7	6.5	17.6	▲3.6	34.4	31.0
出荷指数	121.5	153.3	99.0	132.6	118.7	133.6	121.6	133.6	164.3	184.7
前期比	-	-	▲25.8	33.9	▲10.5	12.6	▲9.0	9.9	23.0	12.4
前年(同期)比	5.3	26.2	▲11.3	24.1	2.2	7.7	20.2	▲2.6	39.4	42.5
在庫指数	19.9	11.5	18.5	19.3	18.4	22.4	17.6	12.7	9.5	7.4
前期比	-	-	12.8	4.3	▲4.7	21.7	▲21.4	▲27.8	▲25.2	▲22.1
前年(同期)比	16.4	▲42.2	5.6	9.6	2.1	45.5	▲2.9	▲36.6	▲48.4	▲66.4

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(7) 輸送機械工業

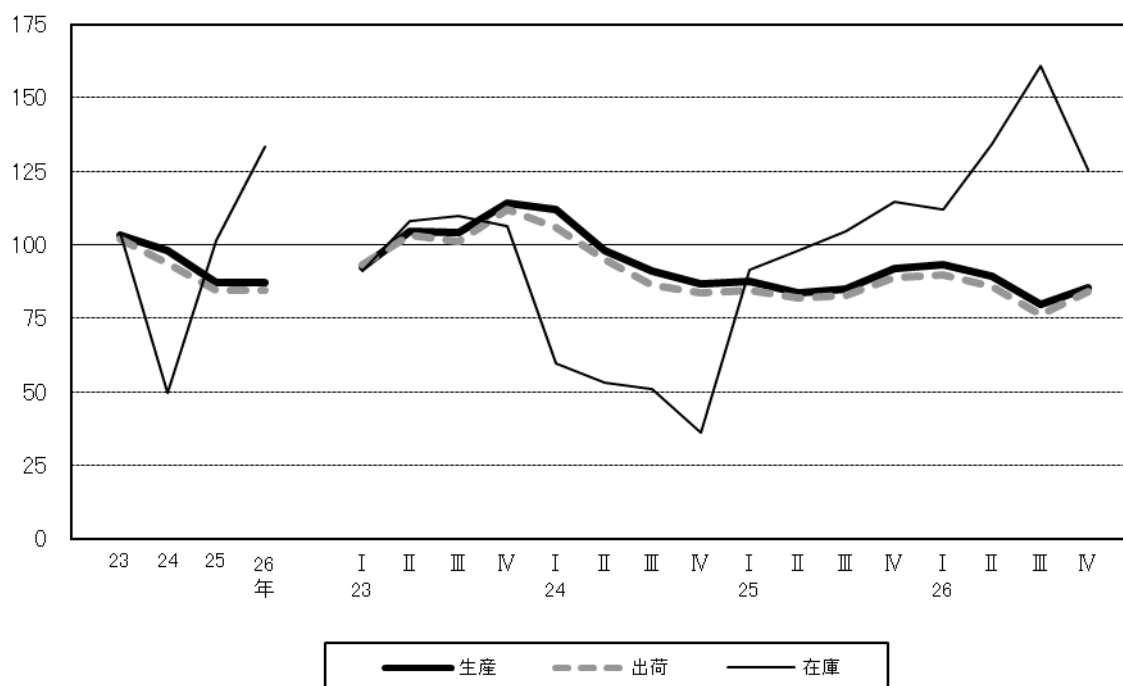
生産指数は、前年比▲0.1%の87.2となり、3年連続で低下しました。

出荷指数は、同▲0.4%の84.4となり、3年連続で低下しました。

在庫指数は、同+31.3%の133.5となり、2年連続で上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比+1.7%)は前年に続き3期連続で上昇した後、4～6月期(同▲4.3%)、7～9月期(同▲10.9%)と低下し、10～12月期(同+7.0%)は上昇しました。

第10図 輸送機械工業の推移(H22=100)



第16表 輸送機械工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	87.3	87.2	87.6	83.8	85.2	91.8	93.4	89.4	79.7	85.3
前期比	-	-	0.8	▲4.3	1.7	7.7	1.7	▲4.3	▲10.9	7.0
前年(同期)比	▲10.8	▲0.1	▲21.6	▲15.4	▲7.9	5.5	8.6	7.5	▲8.3	▲8.0
出荷指数	84.7	84.4	84.7	81.9	82.8	89.0	89.9	86.0	76.5	84.1
前期比	-	-	1.3	▲3.3	1.1	7.5	1.0	▲4.3	▲11.0	9.9
前年(同期)比	▲9.7	▲0.4	▲20.8	▲14.2	▲6.3	6.6	8.3	5.3	▲9.3	▲6.2
在庫指数	101.7	133.5	91.6	98.2	104.8	114.6	111.9	134.3	160.9	125.4
前期比	-	-	151.6	7.2	6.7	9.4	▲2.4	20.0	19.8	▲22.1
前年(同期)比	105.0	31.3	64.9	102.7	91.7	177.1	19.5	37.1	64.6	8.0

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(8) 窯業・土石製品工業

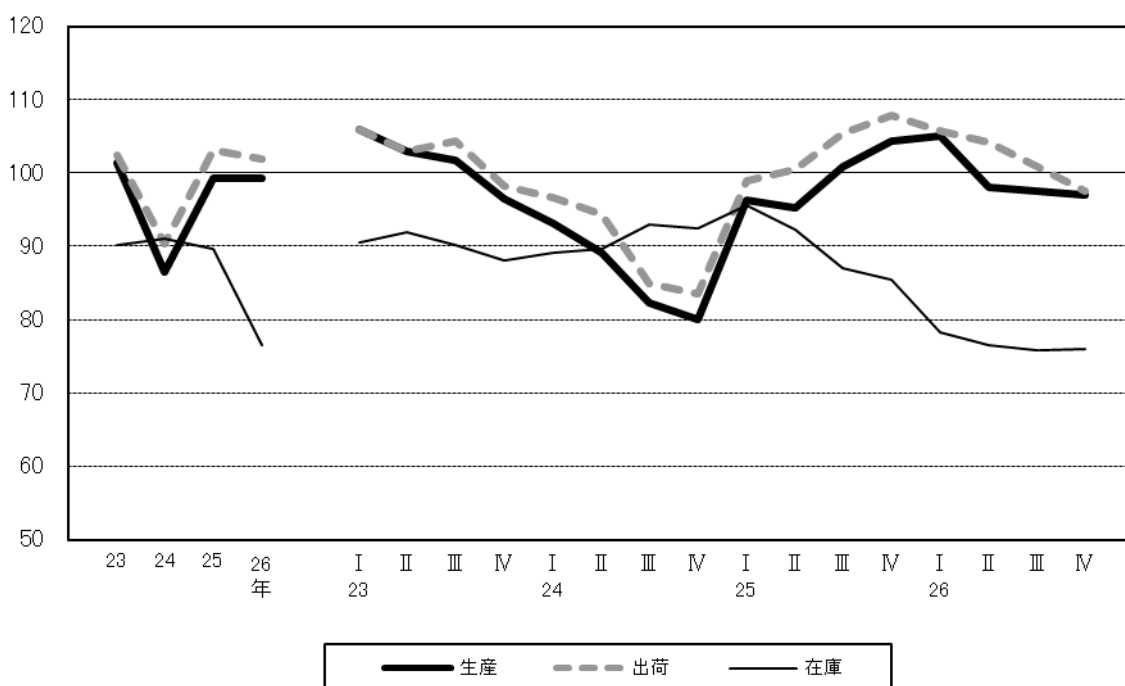
生産指数は、前年と同じ99.3でした。

出荷指数は、前年比▲1.3%の101.9となり、2年ぶりに低下しました。

在庫指数は、同▲14.7%の76.5となり、2年連続で低下しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期は前期比+0.7%と前年から3期連続して上昇した後、4～6月期(同▲6.8%)、7～9月期(同▲0.5%)、10～12月期(同▲0.5%)と3期連続で低下しました。

第11図 窯業・土石製品工業の推移(H22=100)



第17表 窯業・土石製品工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	99.3	99.3	96.3	95.3	100.8	104.4	105.1	98.0	97.5	97.0
前期比	-	-	20.4	▲1.0	5.8	3.6	0.7	▲6.8	▲0.5	▲0.5
前年(同期)比	14.8	0.0	4.5	7.3	22.3	26.7	11.1	1.7	▲3.9	▲7.8
出荷指数	103.2	101.9	99.0	100.5	105.4	107.8	105.8	104.1	100.8	97.5
前期比	-	-	18.4	1.5	4.9	2.3	▲1.9	▲1.6	▲3.2	▲3.3
前年(同期)比	14.2	▲1.3	2.3	6.8	23.8	25.9	8.5	3.1	▲5.3	▲9.9
在庫指数	89.7	76.5	95.6	92.2	87.0	85.4	78.2	76.5	75.9	76.0
前期比	-	-	3.4	▲3.6	▲5.6	▲1.8	▲8.4	▲2.2	▲0.8	0.1
前年(同期)比	▲1.5	▲14.7	8.7	3.5	▲6.6	▲9.1	▲18.5	▲17.5	▲13.1	▲10.0

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(9)化学工業

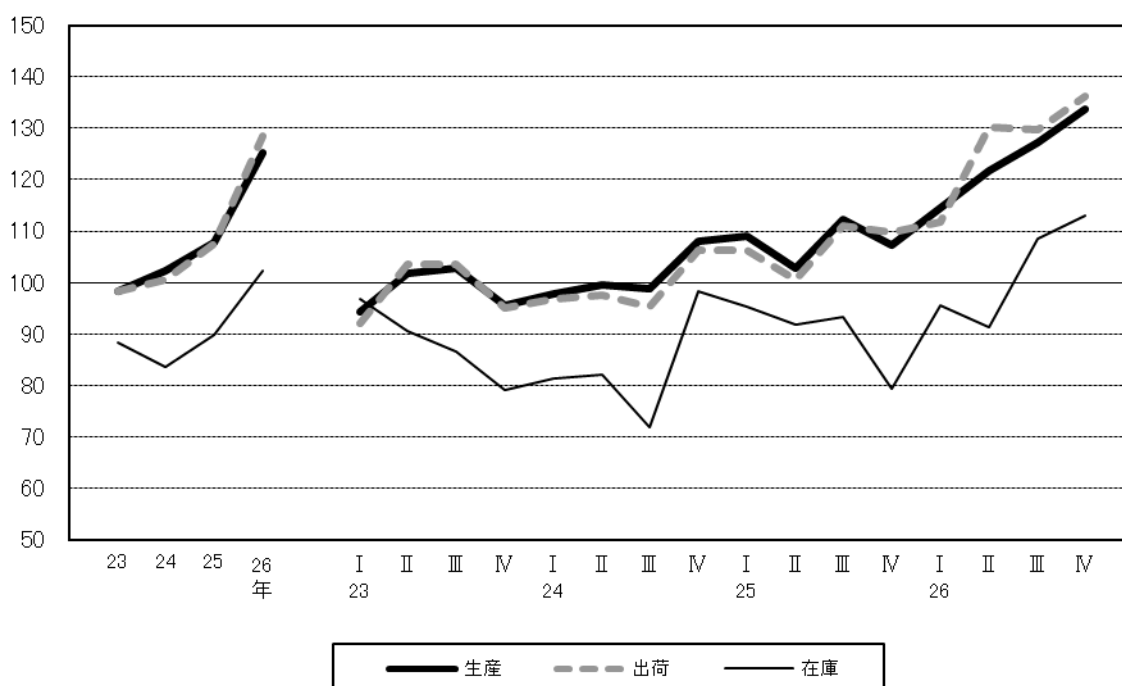
生産指数は、前年比+16.1%の125.3となり、3年連続で上昇しました。

出荷指数は、同+19.3%の128.4となり、3年連続で上昇しました。

在庫指数は、同+13.8%の102.3となり、2年連続で上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、前年10～12月期に2期ぶりに低下した後、1～3月期に(前期比+6.7%)、4～6月期(同+6.4%)、7～9月期(同+4.6%)、10～12月期(同+5.0%)と4期連続で上昇しました。

第12図 化学工業の推移(H22=100)



第18表 化学工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	107.9	125.3	109.0	102.8	112.3	107.2	114.4	121.7	127.3	133.7
前期比	-	-	0.8	▲5.7	9.2	▲4.5	6.7	6.4	4.6	5.0
前年(同期)比	5.4	16.1	13.3	2.3	13.0	▲3.6	5.0	15.8	15.3	25.8
出荷指数	107.6	128.4	106.4	100.5	111.0	109.9	111.7	130.2	129.8	136.3
前期比	-	-	0.0	▲5.5	10.4	▲1.0	1.6	16.6	▲0.3	5.0
前年(同期)比	7.1	19.3	13.8	3.3	15.1	▲0.4	2.0	27.7	16.7	28.8
在庫指数	89.9	102.3	95.3	91.8	93.3	79.4	95.5	91.3	108.6	112.9
前期比	-	-	▲3.1	▲3.7	1.6	▲14.9	20.3	▲4.4	18.9	4.0
前年(同期)比	7.4	13.8	16.6	8.8	27.0	▲15.2	2.4	▲1.8	17.0	39.2

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(10)プラスチック製品工業

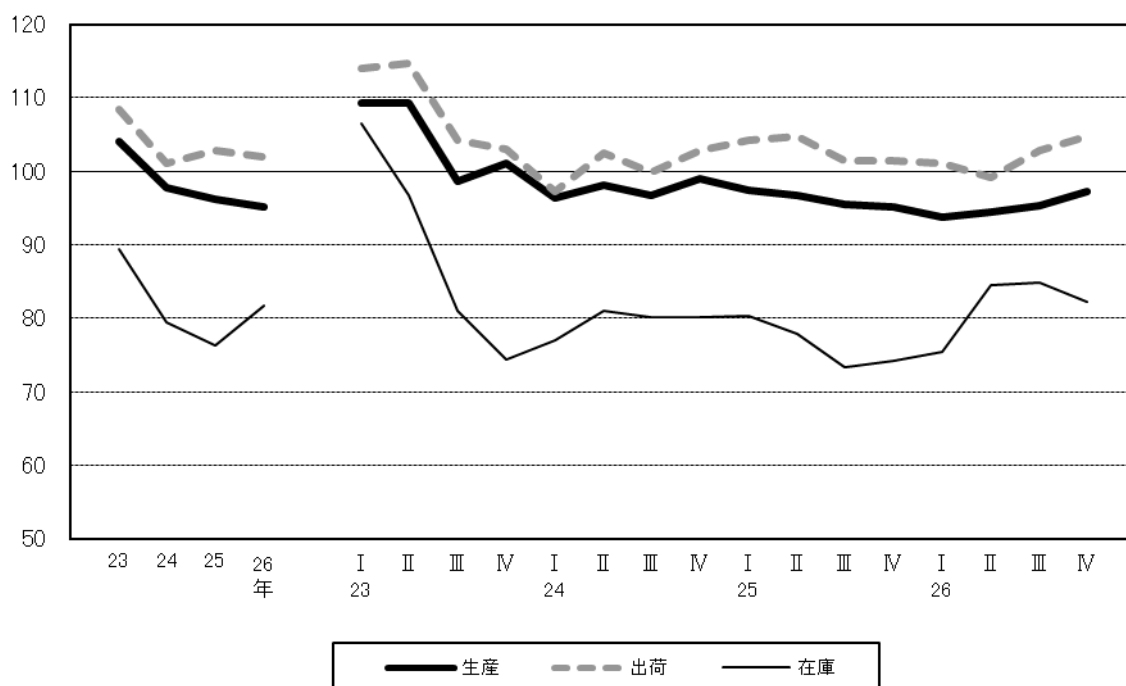
生産指数は、前年比▲1.0%の95.2となり、3年連続で低下しました。

出荷指数は、同▲0.9%の101.9となり、2年ぶりに低下しました。

在庫指数は、同+7.1%の81.8となり、4年ぶりに上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲1.6%)は前年に続き5期連続で低下した後、4～6月期(同+0.9%)、7～9月期(同+0.8%)、10～12月期(同+2.1%)と3期連続で上昇しました。

第13図 プラスチック製品工業の推移(H22=100)



第19表 プラスチック製品工業の指数及び増減率

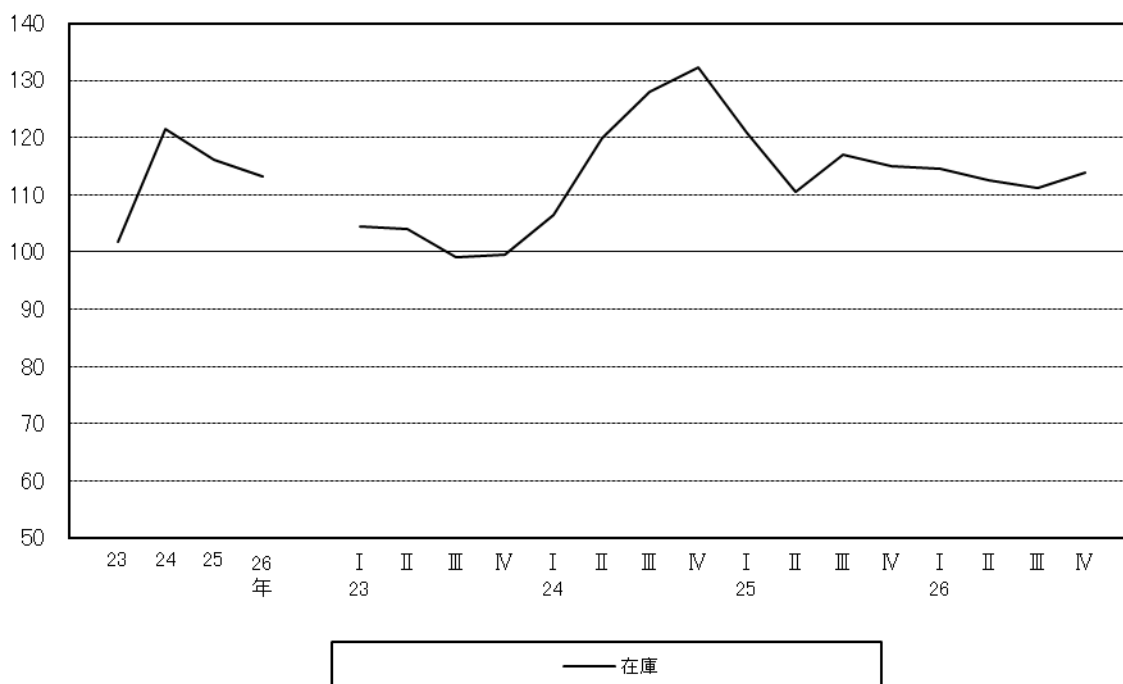
項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	96.2	95.2	97.5	96.8	95.5	95.2	93.7	94.5	95.3	97.3
前期比	-	-	▲1.5	▲0.7	▲1.3	▲0.3	▲1.6	0.9	0.8	2.1
前年(同期)比	▲1.6	▲1.0	▲1.1	▲0.4	▲1.9	▲3.1	▲4.0	▲3.1	▲0.1	3.0
出荷指数	102.8	101.9	104.3	104.7	101.4	101.5	101.0	99.1	102.8	104.7
前期比	-	-	1.5	0.4	▲3.2	0.1	▲0.5	▲1.9	3.7	1.8
前年(同期)比	1.7	▲0.9	4.0	3.3	1.3	▲1.5	▲2.6	▲6.4	1.5	4.0
在庫指数	76.4	81.8	80.4	77.9	73.3	74.3	75.5	84.5	84.9	82.3
前期比	-	-	0.4	▲3.1	▲5.9	1.4	1.6	11.9	0.5	▲3.1
前年(同期)比	▲3.9	7.1	4.8	▲3.7	▲9.6	▲6.4	▲6.6	10.7	15.8	9.1

※年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(11)パルプ・紙・紙加工品工業

在庫指数は、前年比▲2.6%の113.2となり、2年連続で低下しました。

第14図 パルプ・紙・紙加工品工業の推移(H22=100)



第20表 パルプ・紙・紙加工品工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月	I 1~3月	II 4~6月	III 7~9月	IV 10~12月
生産指数	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
前期比	-	-	x	x	x	x	x	x	x	x
前年(同期)比	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
出荷指数	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
前期比	-	-	x	x	x	x	x	x	x	x
前年(同期)比	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
在庫指数	116.2	113.2	120.9	110.6	117.0	115.1	114.6	112.5	111.1	114.0
前期比	-	-	▲8.6	▲8.5	5.8	▲1.6	▲0.4	▲1.8	▲1.2	2.6
前年(同期)比	▲4.3	▲2.6	13.3	▲9.8	▲8.2	▲10.3	▲4.7	1.1	▲5.5	▲0.9

※年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

※生産、出荷指数については統計上の秘密の保護のため秘匿とする

(12) 繊維工業

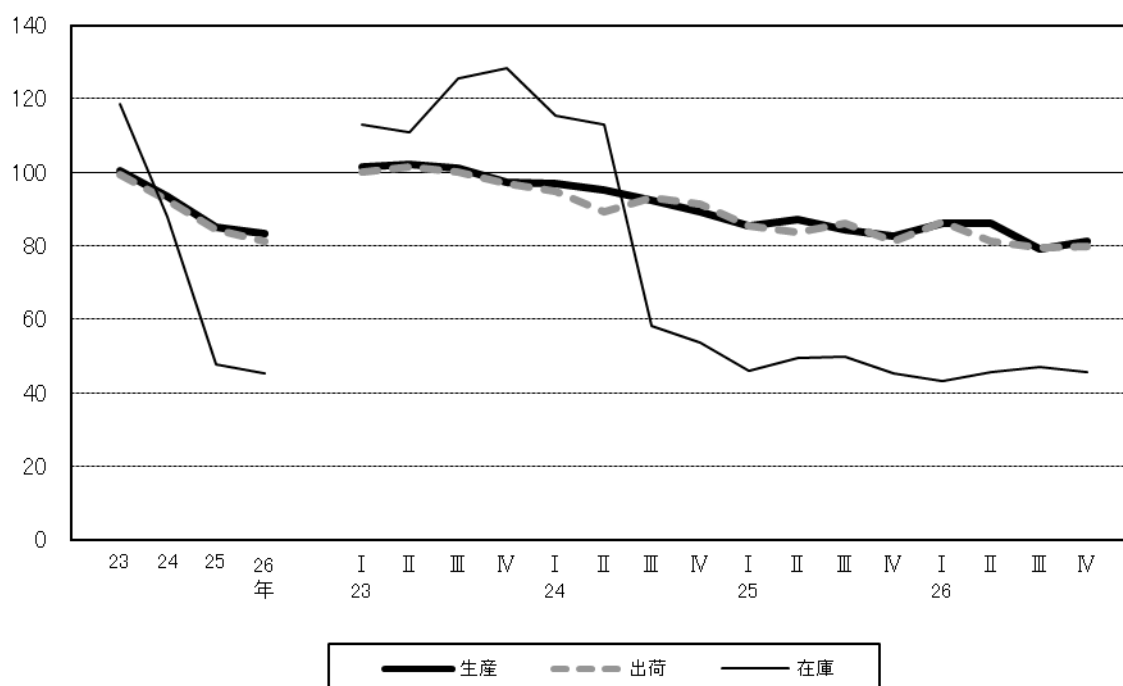
生産指数は、前年比▲2.2%の83.2となり、3年連続で低下しました。

出荷指数は、同▲3.6%の81.4となり、7年連続で低下しました。

在庫指数は、同▲5.0%の45.5となり、3年連続で低下しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比+4.4%)は3期ぶりに上昇した後、4～6月期(同▲0.1%)、7～9月期(同▲7.8%)と連続で低下し、10～12月期(同+2.5%)は再び上昇しました。

第15図 繊維工業の推移(H22=100)



第21表 繊維工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	85.1	83.2	85.6	87.1	84.4	82.5	86.1	86.0	79.3	81.3
前期比	-	-	▲3.9	1.8	▲3.1	▲2.3	4.4	▲0.1	▲7.8	2.5
前年(同期)比	▲9.0	▲2.2	▲11.9	▲8.1	▲7.8	▲8.4	1.4	0.0	▲6.8	▲2.8
出荷指数	84.4	81.4	85.4	83.6	86.3	81.2	86.5	81.1	79.4	79.7
前期比	-	-	▲6.4	▲2.1	3.2	▲5.9	6.5	▲6.2	▲2.1	0.4
前年(同期)比	▲8.7	▲3.6	▲8.8	▲9.1	▲6.7	▲10.5	2.6	▲2.8	▲7.6	▲4.2
在庫指数	47.9	45.5	46.2	49.7	49.9	45.5	43.3	45.8	47.1	45.6
前期比	-	-	▲14.1	7.6	0.4	▲8.8	▲4.8	5.8	2.8	▲3.2
前年(同期)比	▲45.5	▲5.0	▲61.3	▲54.9	▲13.2	▲16.3	▲9.1	▲6.3	▲3.8	0.0

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(13) ゴム製品工業

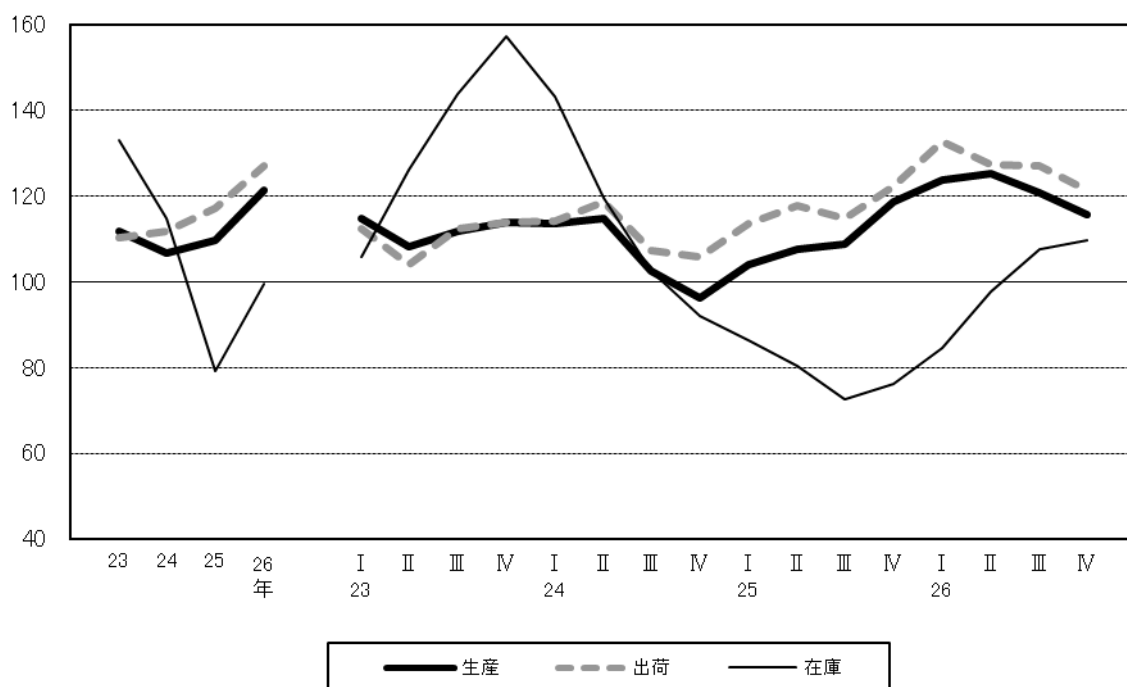
生産指数は、前年比+10.6%の121.2となり、2年連続で上昇しました。

出荷指数は、同+8.5%の126.9となり、5年連続で上昇しました。

在庫指数は、同+25.8%の99.6となり、3年ぶりに上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、前年に続き1～3月期(前期比+4.3%)、4～6月期(同+1.4%)と6期連続で上昇した後、7～9月期(同▲3.8%)、10～12月期(同▲4.1%)と2期連続で低下しました。

第16図 ゴム製品工業の推移(H22=100)



第22表 ゴム製品工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	109.6	121.2	104.0	107.5	108.7	118.5	123.6	125.3	120.6	115.6
前期比	-	-	8.1	3.4	1.1	9.0	4.3	1.4	▲3.8	▲4.1
前年(同期)比	2.8	10.6	▲9.3	▲4.6	6.2	21.4	18.3	17.9	10.6	▲2.5
出荷指数	117.0	126.9	113.6	117.7	114.6	122.3	132.6	127.3	127.0	121.3
前期比	-	-	7.4	3.6	▲2.6	6.7	8.4	▲4.0	▲0.2	▲4.5
前年(同期)比	4.8	8.5	▲4.1	1.1	6.1	16.9	18.4	8.4	9.9	▲1.1
在庫指数	79.2	99.6	86.3	80.3	72.5	76.3	84.5	97.7	107.6	109.7
前期比	-	-	▲6.3	▲7.0	▲9.7	5.2	10.7	15.6	10.1	2.0
前年(同期)比	▲31.0	25.8	▲38.5	▲32.4	▲31.3	▲17.1	▲3.3	21.5	49.8	43.6

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(14) 木材・木製品工業

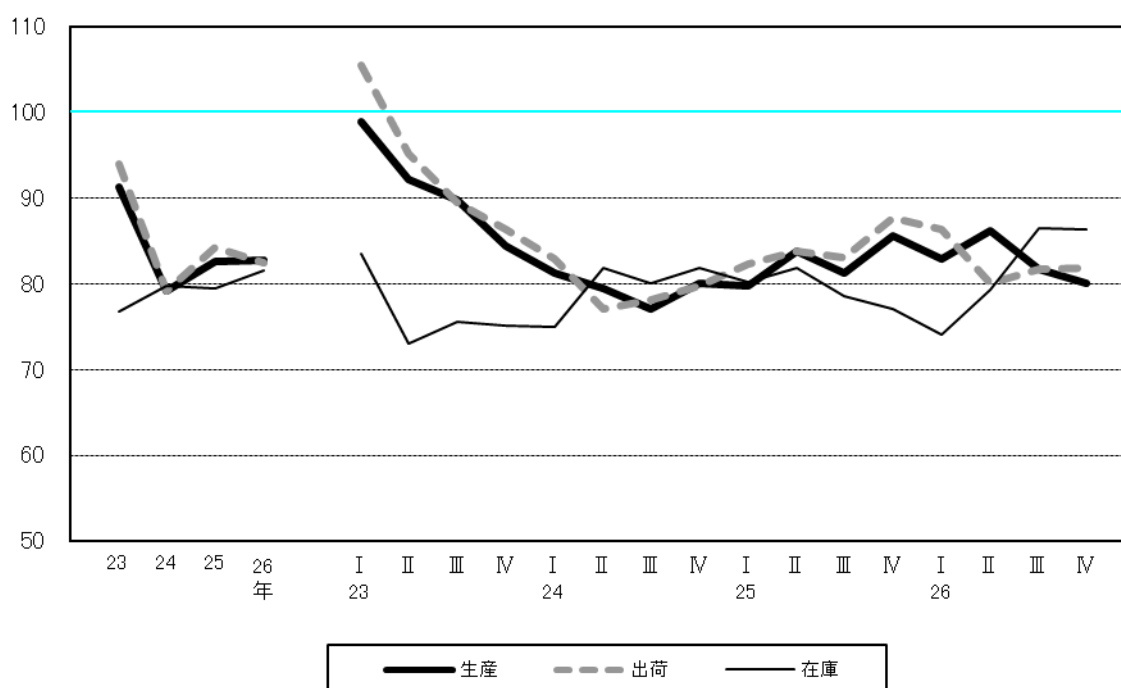
生産指数は、前年比+0.1%の82.7となり、2年連続で上昇しました。

出荷指数は、同▲2.1%の82.5となり、2年ぶりに低下しました。

在庫指数は、同+2.6%の81.6となり、2年ぶりに上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲3.2%)は低下、4～6月期(同+3.9%)は上昇し、その後7～9月期(同▲5.1%)、10～12月期(同▲2.0%)と2期連続で低下しました。

第17図 木材・木製品工業の推移(H22=100)



第23表 木材・木製品工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	82.6	82.7	79.7	83.8	81.2	85.6	82.9	86.1	81.7	80.1
前期比	-	-	▲0.4	5.1	▲3.1	5.4	▲3.2	3.9	▲5.1	▲2.0
前年(同期)比	4.3	0.1	▲1.8	6.3	4.9	7.5	3.8	3.2	0.3	▲5.9
出荷指数	84.3	82.5	82.3	83.8	83.0	87.7	86.3	80.1	81.7	81.8
前期比	-	-	3.1	1.8	▲1.0	5.7	▲1.6	▲7.2	2.0	0.1
前年(同期)比	6.4	▲2.1	1.1	9.0	5.0	10.7	6.2	▲5.6	▲1.8	▲6.7
在庫指数	79.5	81.6	80.2	81.9	78.6	77.0	74.1	79.3	86.5	86.3
前期比	-	-	▲2.0	2.1	▲4.0	▲2.0	▲3.8	7.0	9.1	▲0.2
前年(同期)比	▲0.3	2.6	5.7	1.5	▲1.8	▲6.0	▲8.8	▲3.5	11.2	12.9

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整指数による

(15) 食料品・たばこ工業

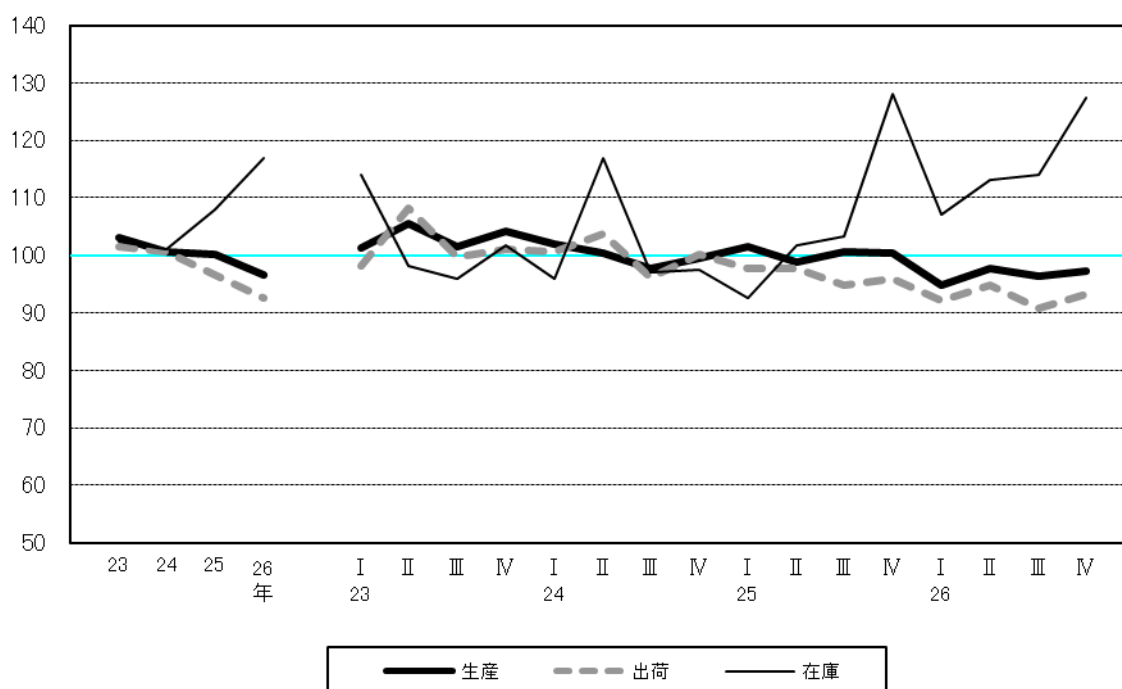
生産指数は、前年比▲3.7%の96.5となり、3年連続で低下しました。

出荷指数は、同▲4.0%の92.6となり、3年連続で低下しました。

在庫指数は、同+8.1%の116.8となり、2年連続で上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲5.7%)は前年から2期連続で低下し、その後4～6月期(同+3.3%)、7～9月期(同▲1.5%)、10～12月期(同+1.0%)と上昇・下降を繰り返しました。

第18図 食料品・たばこ工業の推移(H22=100)



第24表 食料品・たばこ工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	100.2	96.5	101.4	98.7	100.7	100.4	94.7	97.8	96.3	97.3
前期比	-	-	2.0	▲2.7	2.0	▲0.3	▲5.7	3.3	▲1.5	1.0
前年(同期)比	▲0.3	▲3.7	▲2.9	▲1.8	2.5	1.1	▲6.7	▲1.4	▲4.3	▲2.6
出荷指数	96.5	92.6	97.8	97.8	94.8	96.0	92.2	94.7	90.7	93.2
前期比	-	-	▲2.3	0.0	▲3.1	1.3	▲4.0	2.7	▲4.2	2.8
前年(同期)比	▲4.1	▲4.0	▲5.0	▲4.6	▲2.9	▲3.6	▲6.6	▲2.1	▲5.9	▲1.9
在庫指数	108.0	116.8	92.5	101.8	103.3	128.1	107.0	113.0	113.9	127.4
前期比	-	-	▲5.1	10.1	1.5	24.0	▲16.5	5.6	0.8	11.9
前年(同期)比	6.9	8.1	▲6.2	▲10.5	5.5	35.0	11.4	13.6	3.7	6.1

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(16)その他の工業

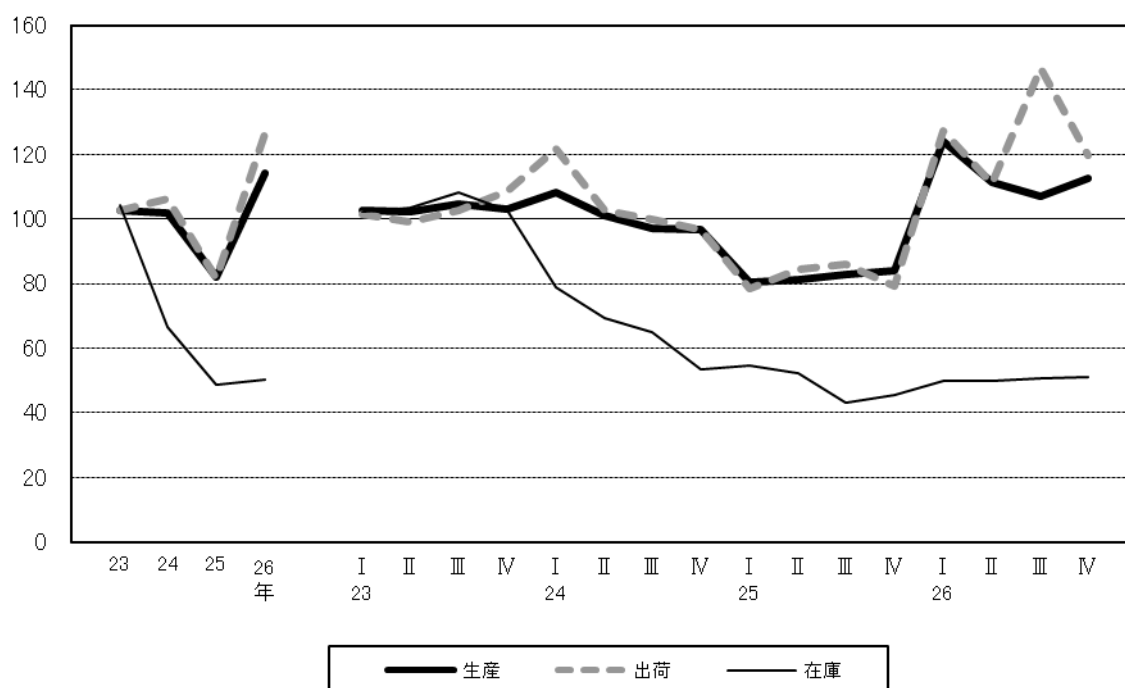
生産指数は、前年比+39.1%の114.3となり、2年ぶりに上昇しました。

出荷指数は、同+54.6%の126.5となり、2年ぶりに上昇しました。

在庫指数は、同+3.1%の50.3となり、2年ぶりに上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比+47.5%)は前年に続き4期連続で上昇した後、4～6月期(同▲10.3%)、7～9月期(同▲3.7%)と2期連続で低下し、10～12月期(同+5.2%)は上昇しました。

第19図 その他の工業の推移(H22=100)



第25表 その他の工業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	82.2	114.3	80.3	81.2	82.7	84.0	123.9	111.2	107.1	112.7
前期比	-	-	▲17.0	1.1	1.8	1.6	47.5	▲10.3	▲3.7	5.2
前年(同期)比	▲19.3	39.1	▲29.3	▲19.8	▲14.7	▲10.4	60.9	40.3	26.9	27.6
出荷指数	81.8	126.5	78.5	84.2	85.9	79.1	127.4	110.9	146.8	119.9
前期比	-	-	▲18.7	7.3	2.0	▲7.9	61.1	▲13.0	32.4	▲18.3
前年(同期)比	▲22.9	54.6	▲38.3	▲18.7	▲11.8	▲16.0	68.0	38.5	71.7	38.9
在庫指数	48.8	50.3	54.5	52.2	43.1	45.6	49.7	49.7	50.8	51.1
前期比	-	-	1.7	▲4.2	▲17.4	5.8	9.0	0.0	2.2	0.6
前年(同期)比	▲26.6	3.1	▲29.0	▲22.1	▲35.3	▲18.1	▲7.6	▲4.4	15.5	12.1

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整指数による

(17) 鋳業(非金属鋳業)

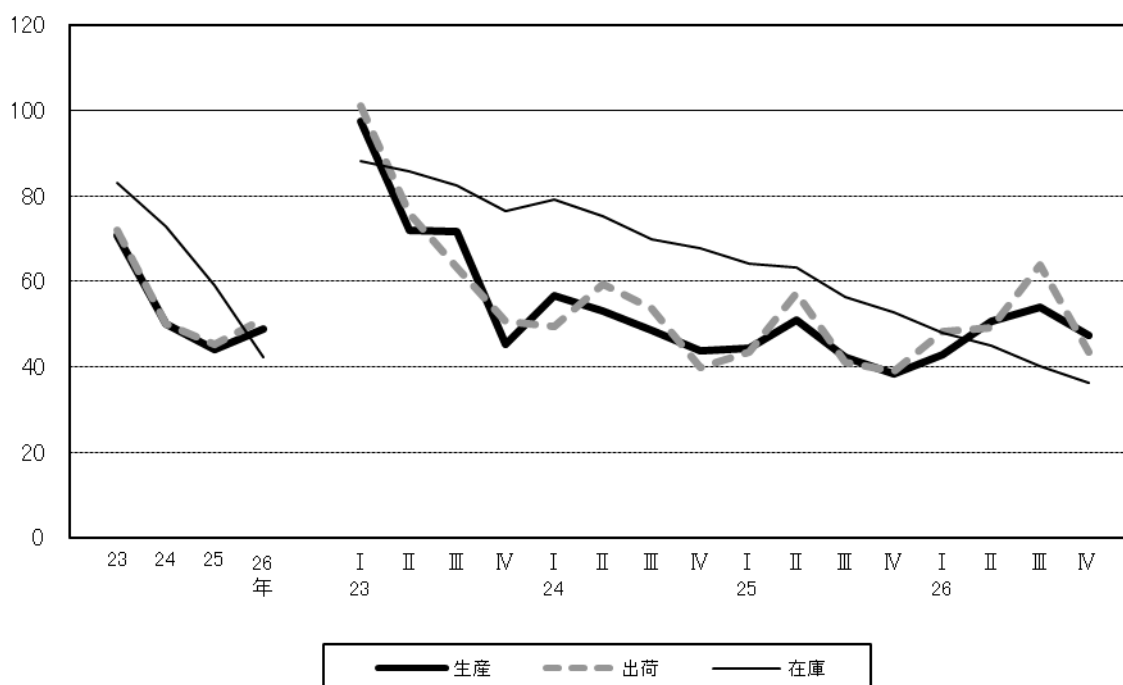
生産指数は、前年比+11.4%の49.0となり、6年ぶりに上昇しました。

出荷指数は、同+13.3%の51.2となり、7年ぶりに上昇しました。

在庫指数は、同▲28.3%の42.4となり、4年連続で低下しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比+11.7%)、4～6月期(同+18.2%)、7～9月期(同+6.9%)と3期連続で上昇した後、10～12月期(同▲12.2%)は低下しました。

第20図 鋳業の推移(H22=100)



第26表 鋳業の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	44.0	49.0	44.4	51.1	42.4	38.3	42.8	50.6	54.1	47.5
前期比	-	-	1.4	15.1	▲17.0	▲9.7	11.7	18.2	6.9	▲12.2
前年(同期)比	▲12.4	11.4	▲20.9	▲0.6	▲11.2	▲16.3	▲8.0	1.9	30.7	29.2
出荷指数	45.2	51.2	43.5	57.3	41.1	39.1	48.3	49.3	63.8	43.4
前期比	-	-	9.3	31.7	▲28.3	▲4.9	23.5	2.1	29.4	▲32.0
前年(同期)比	▲9.6	13.3	▲11.4	0.6	▲22.1	▲6.7	7.9	▲11.9	73.0	▲0.9
在庫指数	59.1	42.4	64.2	63.3	56.5	52.7	48.1	45.1	40.1	36.4
前期比	-	-	▲5.2	▲1.4	▲10.7	▲6.7	▲8.7	▲6.2	▲11.1	▲9.2
前年(同期)比	▲19.0	▲28.3	▲18.8	▲15.1	▲19.4	▲22.8	▲25.6	▲27.8	▲29.0	▲31.3

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

3 特殊分類別の動向

(1)最終需要財

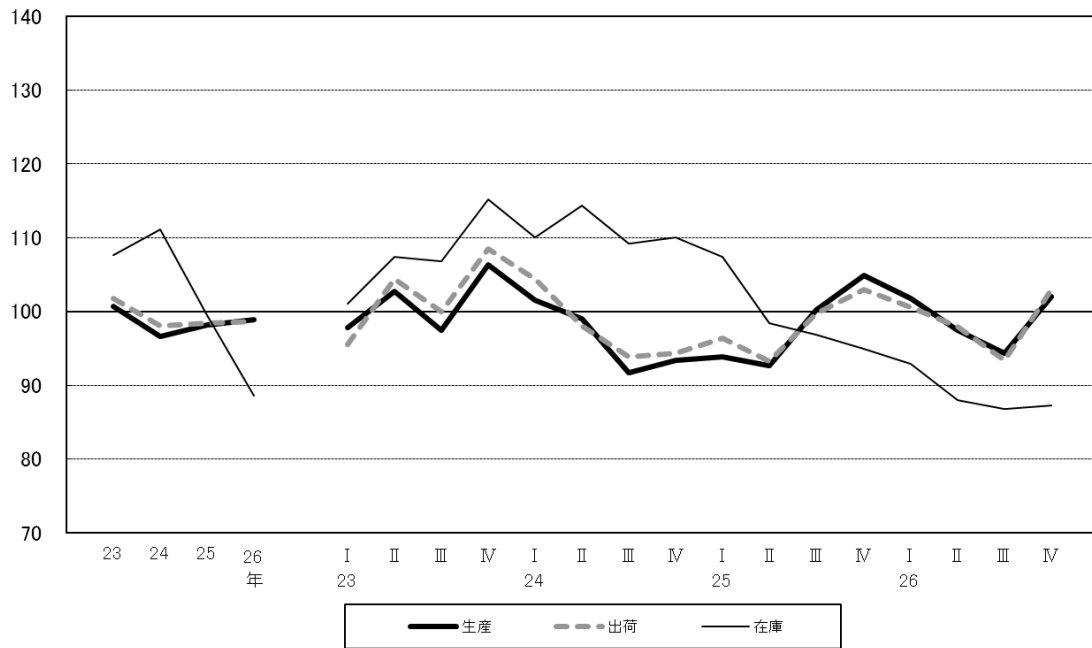
生産指数は、前年比+0.7%の98.9となり、2年連続で上昇しました。

出荷指数は、同+0.2%の98.6となり、2年連続で上昇しました。

在庫指数は、同▲11.0%の88.6となり、2年連続で低下しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲3.0%)、4～6月期(同▲4.3%)、7～9月期(同▲3.2%)と3期連続で低下した後、10～12月期(同+8.2%)は上昇しました。

第21図 最終需要財の推移(H22=100)



第27表 最終需要財の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	98.2	98.9	93.8	92.6	100.2	104.9	101.8	97.4	94.3	102.0
前期比	-	-	0.5	▲1.3	8.2	4.7	▲3.0	▲4.3	▲3.2	8.2
前年(同期)比	1.7	0.7	▲8.5	▲6.9	8.8	14.1	8.9	4.1	▲7.8	▲1.1
出荷指数	98.4	98.6	96.4	93.2	99.7	102.9	100.5	97.9	93.3	102.9
前期比	-	-	2.2	▲3.3	7.0	3.2	▲2.3	▲2.6	▲4.7	10.3
前年(同期)比	0.4	0.2	▲8.4	▲5.2	5.7	10.0	3.5	4.5	▲7.5	1.0
在庫指数	99.5	88.6	107.4	98.4	96.8	94.9	92.9	88.0	86.8	87.2
前期比	-	-	▲2.4	▲8.4	▲1.6	▲2.0	▲2.1	▲5.3	▲1.4	0.5
前年(同期)比	▲10.4	▲11.0	▲1.5	▲14.8	▲11.9	▲13.4	▲14.2	▲10.9	▲11.1	▲7.4

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による

(2) 生産財

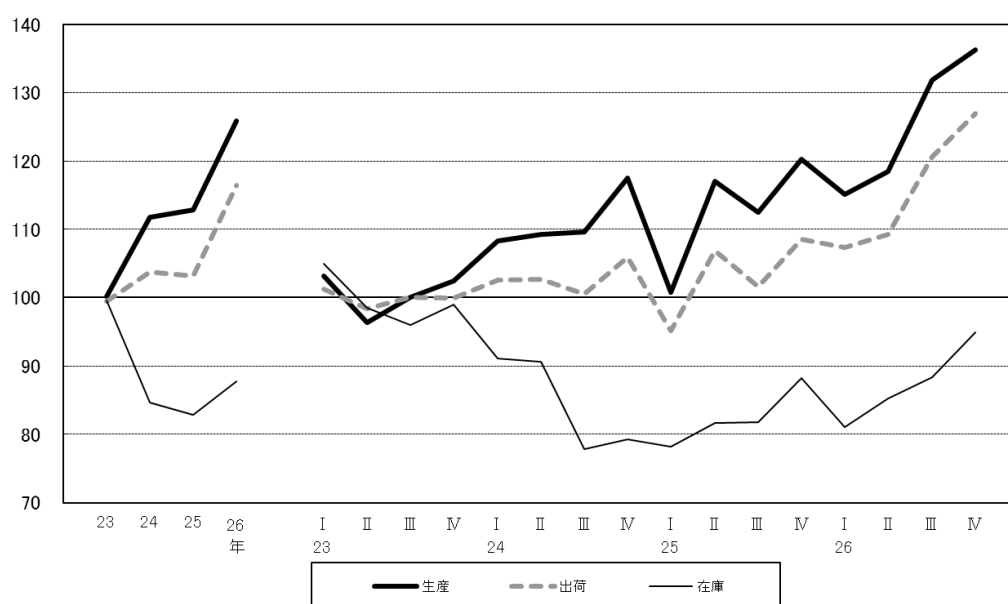
生産指数は、前年比+11.5%の125.8となり、5年連続で上昇しました。

出荷指数は、同+12.9%の116.4となり、2年ぶりに上昇しました。

在庫指数は、同+6.0%の87.8となり、5年ぶりに上昇しました。

生産指数(季節調整値)を四半期別に見ると、1～3月期(前期比▲4.2%)は低下し、4～6月期(同+2.9%)、7～9月期(同+11.3%)、10～12月期(同+3.3%)と3期連続で上昇しました。

第22図 生産財の推移(H22=100)



第28表 生産財の指数及び増減率

項目	平成25年	平成26年	平成25年				平成26年			
			I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月	I 1～3月	II 4～6月	III 7～9月	IV 10～12月
生産指数	112.8	125.8	100.8	117.0	112.5	120.2	115.1	118.4	131.8	136.2
前期比	-	-	▲14.2	16.1	▲3.8	6.8	▲4.2	2.9	11.3	3.3
前年(同期)比	0.9	11.5	▲11.0	7.3	2.7	4.5	11.8	▲0.2	18.0	16.1
出荷指数	103.1	116.4	95.2	106.9	101.6	108.5	107.3	109.2	120.6	126.9
前期比	-	-	▲10.1	12.3	▲5.0	6.8	▲1.1	1.8	10.4	5.2
前年(同期)比	▲0.7	12.9	▲11.4	5.1	▲0.6	4.8	11.8	0.9	19.4	18.3
在庫指数	82.8	87.8	78.2	81.6	81.8	88.2	81.1	85.2	88.4	94.9
前期比	-	-	▲1.4	4.3	0.2	7.8	▲8.0	5.1	3.8	7.4
前年(同期)比	▲2.1	6.0	▲15.5	▲9.8	5.8	12.7	2.4	5.0	5.6	10.4

※ 年指数及び前年(同期)比は原指数、四半期指数及び前期比は季節調整済指数による